

## 第 2 回

### 沖縄の道路渋滞対策と新たな交通環境を考える有識者懇談会

日時：平成 28 年 11 月 4 日(金)

13:30~15:00

場所：那覇地方合同庁舎 2 号館

2 階 防災対策室

### 議事次第

1. 開会
2. 第 1 回懇談会の議事要旨の確認
3. 論点整理
4. 最近の取組みの紹介
5. 意見交換
6. 閉会

### 配付資料

- 資料 1 議事次第
- 資料 2 構成員名簿
- 資料 3 第 1 回議事要旨
- 資料 4 論点整理
- 資料 5 渋滞対策事例
- 資料 6 沖縄県説明資料
- 資料 7 那覇市説明資料

## 沖縄の道路渋滞対策と新たな交通環境を考える有識者懇談会構成員

安里 昌利	沖縄県経営者協会会長
新垣 美佳	株式会社新垣通商 常務取締役
有住 康則	琉球大学工学部部長
浦崎 唯昭	沖縄県副知事
北野 宏明	沖縄科学技術大学院大学(OIST)教授
合田 憲夫	(一社)沖縄県バス協会会長
古謝 景春	沖縄県市長会会長
佐次田 朗	(公社)沖縄県トラック協会 会長
城間 幹子	那覇市長
新城 恵子	沖縄県中小企業家同友会代表理事
平良 敏昭	旭橋都市開発株式会社代表取締役社長
東 良和	日本旅行業協会(JATA)理事
美里 義雅	沖縄都市モノレール株式会社代表取締役社長
與儀 弘子	沖縄県公安委員、元那覇市副市長

沖縄の道路渋滞対策と新たな交通環境を考える有識者懇談会  
第1回懇談会 議事要旨（案）

- 1 日 時 平成 28 年 10 月 17 日（月） 13:00～14:30
- 2 場 所 那覇地方合同庁舎 2 号館 2F 災害対策室
- 3 出席者 別紙のとおり
- 4 概 要
  - (1) 座長、副座長選出  
安里座長、有住副座長を選出
  - (2) 沖縄総合事務局からの説明  
事務局より、現在の沖縄の道路交通状況や推進中の施策の説明を行った。
    - 沖縄の道路交通の現状と対応状況
  - (3) 意見交換  
各委員より、交通環境の改善に向け必要な取組み例として、以下の論点に関する意見交換がなされた。
    - 道路整備、渋滞対策
    - 公共交通の利用促進
    - 交通結節点の整備
    - 徒歩・自転車環境の整備
    - 観光客への対応
    - IC カードの利活用促進
    - 物流、人流の分散化
    - 民間企業、県民を主体とした賢い道路の利用（時空間分散・平準化）
    - ビッグデータやIoTの活用
    - 関連する対策との連携
  - (4) 今後の予定  
第1回懇談会での議論、及び第2回会議開催までの委員との個別協議を踏まえ、事務局において、沖縄の新たな交通環境の創造に向けた方向性に関する「中間とりまとめ（案）」を整理する。

## 資料 4

### 議論を踏まえた論点

#### 【総論】

- 新たな交通環境創出に向けた基本方針
  - ・ 自家用車中心社会から公共交通で移動出来る社会へ
  - ・ 既存道路、施設の賢い活用
- 今後の取組みの進め方
  - ・ 県民、企業の協力のあり方
  - ・ 社会実験等を活用しつつ、自動運転、IoT など最先端の取組みを導入し、日本、世界に展開
  - ・ ビッグデータを活用した渋滞、安全対策  
(例えば、外国人旅行者運転車両の経路、挙動分析など)
  - ・ フォローアップ体制

#### 【各論】

- 道路整備、渋滞対策
  - ・ 道路ネットワーク整備の確実な推進(2環状7放射、ハシゴ道路等の整備)
  - ・ MICE 施設の整備に伴うアクセス環境の整備
  - ・ 渋滞交差点の改良、立体化
  - ・ スマートインターチェンジの整備の推進
  - ・ ETC(ETC2.0)の普及促進
  - ・ 高速道路の利用促進に向けた取組みの検討
- 公共交通の利用促進
  - ・ モノレールの輸送力の拡充方策
  - ・ 基幹バス(BRT)の導入に向けたバス網再編の推進(急行バス、バスレーン延長、乗換拠点整備、優先信号 等)
  - ・ LRT の導入可能性調査
  - ・ バスレーンやリバーシブルレーンの延長の検討
  - ・ モノレール駅やバスターミナルを拠点としたコミュニティバス等導入
  - ・ バスロケーションシステムのバス停における整備や情報提供の改善
  - ・ バス停の整備等バス待ち環境の改善
- 交通結節点の整備
  - ・ 地域交通の中心となる交通結節点の創出(モノレール駅、大規模民間集客施設、公共施設、道の駅との連携強化)
  - ・ 結節点への P&R 駐車場整備やレンタカー、路線バス、コミュニティバス、レンタサイクル等の活用拠点整備
  - ・ 結節点への商店誘致等にぎわいの創出
  - ・ 結節点における外国人を含めた観光客向けサービス提供(例えば「手ぶら

### 観光」の推進)や情報提供の充実

- 徒歩・自転車にも優しい道路空間の再編・創出
  - ・ 国際通りのトランジットモール化、荷捌き車両対策等の道路空間再編
  - ・ 電線類地中化の推進
  - ・ 自転車走行環境の整備促進
  - ・ シェアサイクル等の導入
- 観光客への対応
  - ・ 外国人観光客にも分かりやすい道路交通情報の提供
  - ・ 駐車場の満空情報提供
  - ・ 観光客が携帯電話等で容易に観光情報を得られる仕組み整備(Wi-Fi 環境整備や観光情報の充実)
  - ・ 観光客向けの路線バスの分かりやすい利用方法、活用方策の情報提供の実施
  - ・ 那覇クルーズターミナルから国際通りに向けた歩行動線の整備
  - ・ クルーズ寄港時におけるバス、タクシー等の二次交通対策(港湾から観光地等への交通)を検討
  - ・ 本部港等におけるクルーズ寄港に対応した港湾活用の促進
- IC カードの利活用促進
  - ・ 交通系 IC カード(OKICA)の機能向上(船など多様な交通手段、買い物等への利用範囲の拡大、等)
  - ・ 利用促進のための割引制度の導入(高齢者用バス割引、乗継割引等)
- 物流の分散化
  - ・ 中城湾港の港湾活用の促進による物流拠点の分散化
  - ・ 効率的なトラック輸送のための物流センター整備の促進
- 民間企業、県民を主体とした賢い道路の利用(時空間分散・平準化)
  - ・ 県民の公共交通を利用しようという意識の改革
  - ・ 民間企業の公共交通利用促進の支援(わったーバス党の活用等)
  - ・ 県・市町村・民間企業への時差出勤の拡大
  - ・ バス専用レーンを利用した HOV\*の導入  
\* High-Occupancy Vehicles : 複数名乗車車両の走行を可能とする制度
- ビッグデータや IoT の活用
  - ・ バス(基幹バス、コミュニティバス)への自動運転の活用を目指した社会実験実施に向けた取組みを推進
- 関連する対策との連携
  - ・ 自家用車だけに頼らないコンパクトなまちづくりと交通環境形成の推進
  - ・ 観光客に対する防災対策
  - ・ 空港や観光地周辺の緑化等による景観形成
  - ・ 生活道路への流入交通の抑制

## 渋滞対策事例(新たに取り組んだ事例)

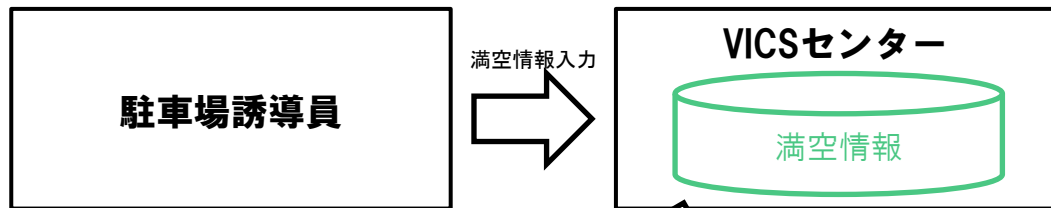
1. 駐車場情報の提供（国営沖縄記念公園）
2. 訪日外国人旅行者受入環境整備緊急対策事業  
（貸切バス路上混雑解消実証事業）
3. 手ぶら観光
4. 新たな補助制度の概要  
（地方での消費拡大に向けたインバンド対応支援事業）
5. 沖縄県内 Free Wi-Fi の取り組み



- 来訪者の駐車場への円滑な誘導案内を目的として、VICsを活用した駐車場情報を提供  
(今回、試行的に実施。今後、都市部等への導入も検討予定)
  - イベント等の**特定の日**に、駐車場誘導員等が満空情報を入力、その情報をVICsセンターを介して配信、**カーナビ画面に表示**
- ➔ 駐車場の**適切な誘導案内** / 駐車場を捜すうろつき車両の減少 (交通渋滞緩和・交通安全性向上)

## 情報提供の概要

- 開始年月 : 平成28年10月29日(土)～ ※イベント等の特定の日
- 対象駐車場: 国営沖縄記念公園内駐車場(右図)
- 実施内容 : 駐車場の満空情報をVICsによりカーナビへ提供(下図)



駐車場誘導員

満空情報入力

VICsセンター

満空情報

(提供イメージ)

情報配信



満車	混雑	空車	閉鎖	不明
90%以上	70%~90%	70%以下	—	情報なし

カーナビに表示されるVICsの駐車場マークの色で満空情報を提供

出典)VICsセンターHP



国営沖縄記念公園

※9箇所に点在(1,538台収容可)

出典)国営沖縄記念公園HP

## <カーナビに駐車場情報表示>



※ カーナビに表示されるVICSの駐車場マークの色で満空情報を提供

				
満車	混雑	空車	閉鎖	不明
90%以上	70%~90%	70%以下	-	情報なし



- 沖縄県那覇市国際通り周辺には、貸切バスを利用した修学旅行等の団体客が多く、乗降場が整備されていない事から交通渋滞が発生。
- また、国際通り周辺には待機場所も確保されていないことから、周辺道路への違法な駐車場も多く、交通渋滞が発生。



松山公園周辺



県庁前周辺

## 【実証実験内容】

- ・平成28年9月26日～平成28年10月10日まで、各対象地域における交通渋滞の状況を把握
- ・平成28年10月24日～平成28年12月10日まで、待機場(那覇市西:沖縄県公安委員会後地)を活用した実証実験(ショットガン方式※1)を実施
- ・平成29年2月を目途に、実証実験による効果検証結果を取りまとめ報告

※1. ショットガン方式とは:乗降場(2ヶ所)が空くたびに電話連絡で、貸切バスを待機場から1台ずつ順次出発させ、国際通り等への流入台数を調整する方法。

訪日外国人旅行者が鉄道等で大きな荷物を持ち運ぶ不便を解消するため、日本の優れた宅配サービスを活用し、**荷物**を空港・駅・商業施設等で**一時預かり**し、また、空港・駅・ホテル等へ**配送**するなどの「手ぶら観光」を物流審議官部門及び観光庁において促進中。これにより、以下の効果が見込まれる。

- 訪日外国人旅行者が大きな荷物を持って移動する負担の軽減
- 観光地におけるコインロッカーや移動交通機関における荷物置き場等の不足への対応
- 安全で確実な日本の優れた宅配サービスを世界へアピール

2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催までに、訪日外国人旅行者が「手ぶら観光」出来る環境整備を実現！

## 手ぶら観光のイメージ



宅配サービス等を活用し、スーツケースや免税店等で購入したお土産等を

- ・空港・駅・ホテル等の宅配カウンターで一時預かり
- ・次の目的地の空港・駅・ホテル等へ配送

## 効果

- 世界最高水準の宅配サービスでのおもてなし
  - コインロッカーや列車内荷物置き場不足への対応（特に、オリンピック・パラリンピック開催時）
- ↓
- 国内旅行の快適性・利便性向上
  - 訪日リピーターの増加

- 訪日外国人旅行者が鉄道等で大きな荷物を持ち運ぶ不便を解消するため、空港・駅・商業施設等で荷物を一時預かり、あるいは空港・駅・宿泊先等へ配送する等の手ぶら観光を促進中。
- 「明日の日本を支える観光ビジョン」において、平成28年度末までに手ぶら観光カウンター数を80箇所(27年度末)から倍増し、32年までに手ぶら観光カウンターを全主要交通結節点に設置することとされており、地方への展開にも留意しつつ、手ぶら観光の基幹ネットワークの形成を図る。
- 手ぶら観光を地方へ浸透させることにより、訪日外国人旅行者の地方訪問や地方での買物を後押しする効果が期待される。

### 支援対象イメージ

＜公募期間:平成28年6月20日(月)～7月20日(水)17時＞・＜補助事業期間:平成29年1月31日迄＞



	Cloakroom	¥500 per baggage
	暂时寄放行李	每件 500 日元
	暂时寄放行李	每件 500 日圓
	일시 보관	1개당 500원
	Same-day Delivery (in Osaka City)	¥1,000 per baggage
	当天运送 (大阪市内)	每件 1000 日元
	当天运送 (大阪市内)	每件 1000 日圓
	당일 배송 (오사카 시내)	1개당 1000원

受付窓口の開設又は機能向上に係わる工事費用

受付業務を行うための設備、荷物を一時保管するために使用する設備

案内標識の他言語化

### 那覇市での実施例

#### ◆手荷物預かり所

- ・営業時間 9:00～17:00
- ・場所: 那覇市内定期観光バス乗場



#### ◆宅配サービス

- ・営業時間 9:00～19:00
- ・場所: 那覇空港1F到着ロビー



#### 【1階到着ロビー】



出典: 那覇空港国内線旅客ターミナルビルHP/サービス・施設案内  
URL: <http://www.naha-airport.co.jp/facility/service.html>

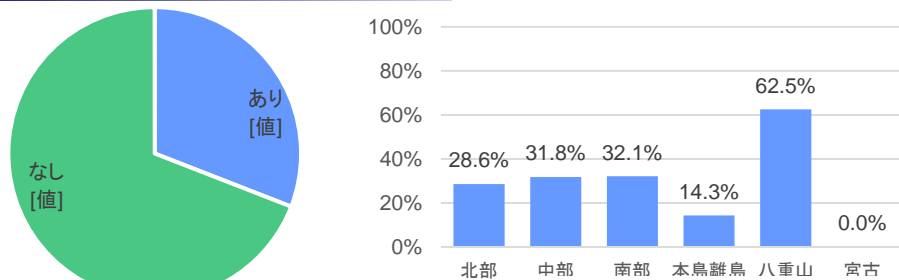
- 沖縄県では、年々増加する**外国人観光客の利便性(満足度)向上**に向けて、無料でインターネットに接続できる**Wi-Fiスポットの拡大、利活用検討・実施**に取り組んでいる
- 将来、Wi-Fiスポットを利用した**利用者情報を収集・活用**する仕組みを検討※

出典)国土交通省HP(地域道路経済戦略研究会 H28.06.28)

## 沖縄県におけるWi-Fiの現状

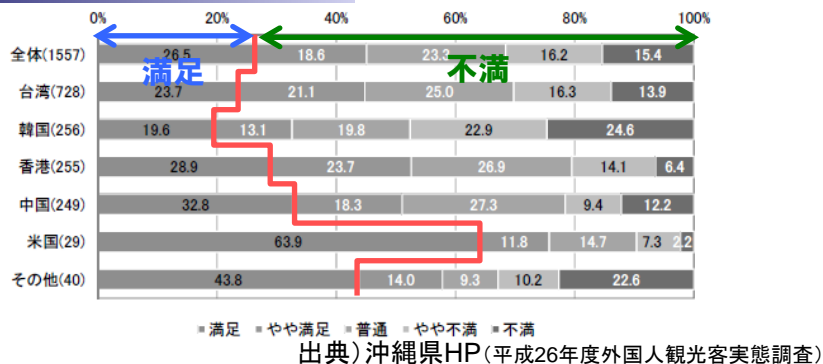
- 観光施設のWi-Fi整備率が低い(約3割)
- 外国人観光客はWi-Fi整備状況への**満足度が低い**

### 観光施設のWi-Fi整備状況



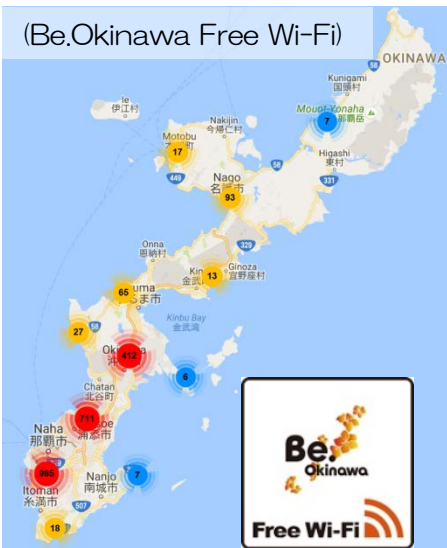
出典)総務省HP  
(沖縄におけるWi-Fi整備の在り方及び利活用方策に関する調査研究 H28.03)

### 外国人観光客の満足度



## 沖縄県内におけるFreeWi-Fiへの取り組み

- 沖縄県内では、**Wi-Fiスポットの拡大**に取り組んでいる
  - Be.Okinawa Free Wi-Fi(沖縄県が推奨するサービス)
    - ⇒H28.10時点:3,000箇所/H28.12時点:5,700箇所に拡大(予定)
  - Okinawa Free Wi-Fi(沖縄全島フリーWi-Fi共同実証実験推進協議会が進めるアプリ共同実証実験)
    - ⇒「**沖縄全島接続アプリ**」**無料配信**、**エリアオーナーコンテンツを掲載**
- 上記の**利活用(情報提供等)**も検討・実施している



- ※Be.Okinawa Free Wi-Fi:
  - 沖縄県が推奨する無料Wi-Fiサービス事業の実施者として、平成28年5月に「沖縄セルラー株式会社」のスポットを指定
  - 今後も継続して指定事業者を追加する予定
- ※Okinawa Free Wi-Fi:
  - 沖縄観光コンベンションビューローや那覇市、沖縄市等が参画して発足した「沖縄全島フリーWi-Fi共同実証実験推進協議会」により運営
  - 「沖縄全島接続アプリ」を無料で配信し、エリアオーナー(Wi-Fiスポット設置者)のコンテンツを掲載 (情報提供例)



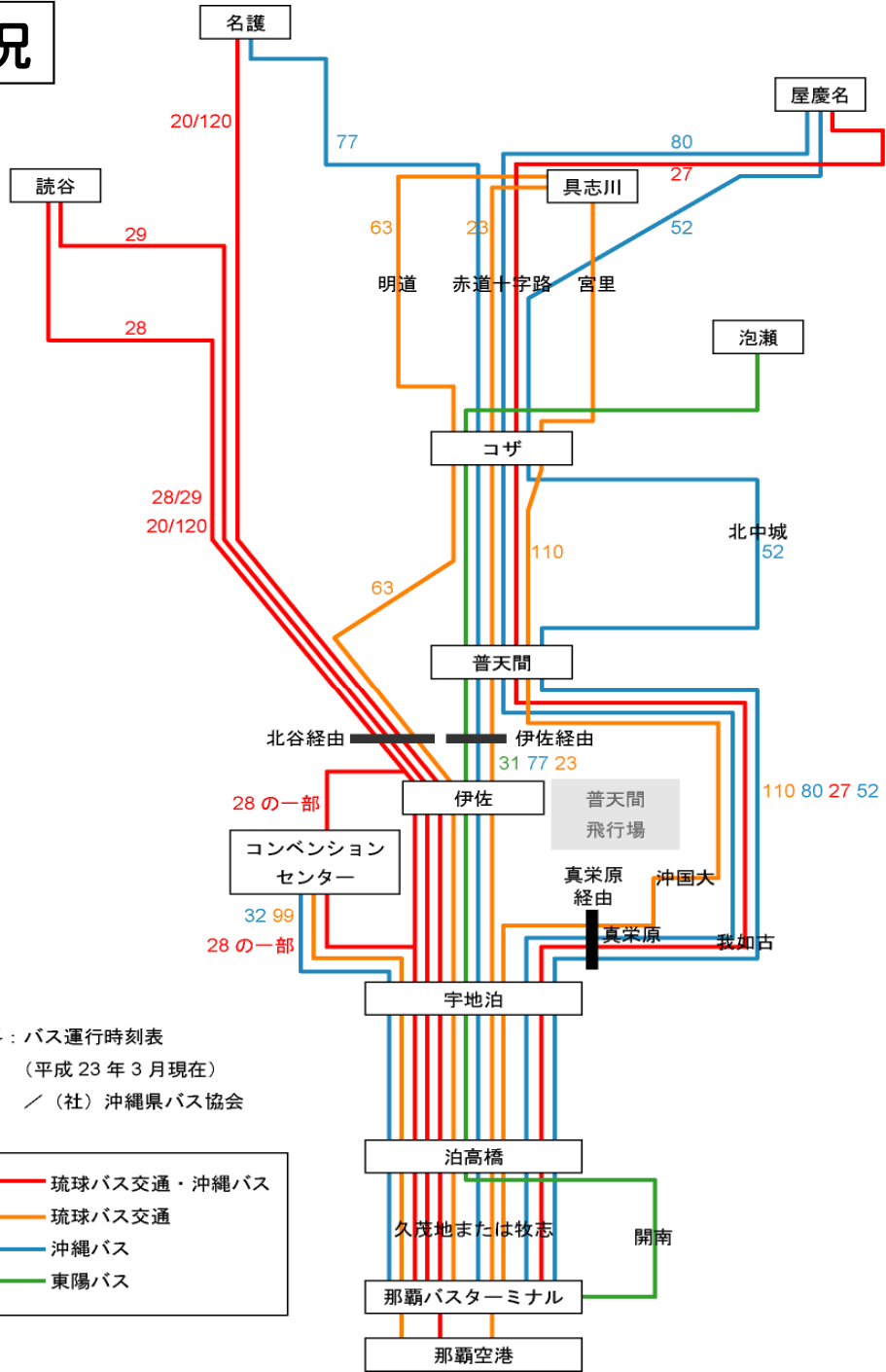
出典)沖縄観光情報WEBサイト(おきなわ物語)

# 沖縄県の交通渋滞に対する取り組み

1. 基幹バスシステムのイメージ	… P 1
2. バスレーンの延長	… P 2
3. 公共車両優先システム(PTPS)対応車載器導入事業	… P 3
4. 急行バス運行実証実験	… P 4
5. IC乗車券システムOKICAの拡張検討	… P 5
6. バスなび沖縄、ルートファインダー沖縄	… P 6
7. バス停のグレードアップ(大型標識、バス停上屋等)	… P 7
8. 那覇バスターミナル整備事業	… P 8
9. 広報活動(わった〜バス党)	… P 9
10. 時差出勤の周知・拡大	… P11
11. パーク&バスライドの検討	… P12
12. 公共交通利用環境改善事業一覧	… P13
13. 沖縄地方渋滞対策推進協議会	… P15
14. 道路ネットワークの構築	… P16
15. 沖縄自動車道の有効活用	… P18
16. 対策事例(短期)	… P19
17. 沖縄都市モノレール延長	… P21
18. 交通結節点の整備	… P22
19. 自転車利用の促進	… P24

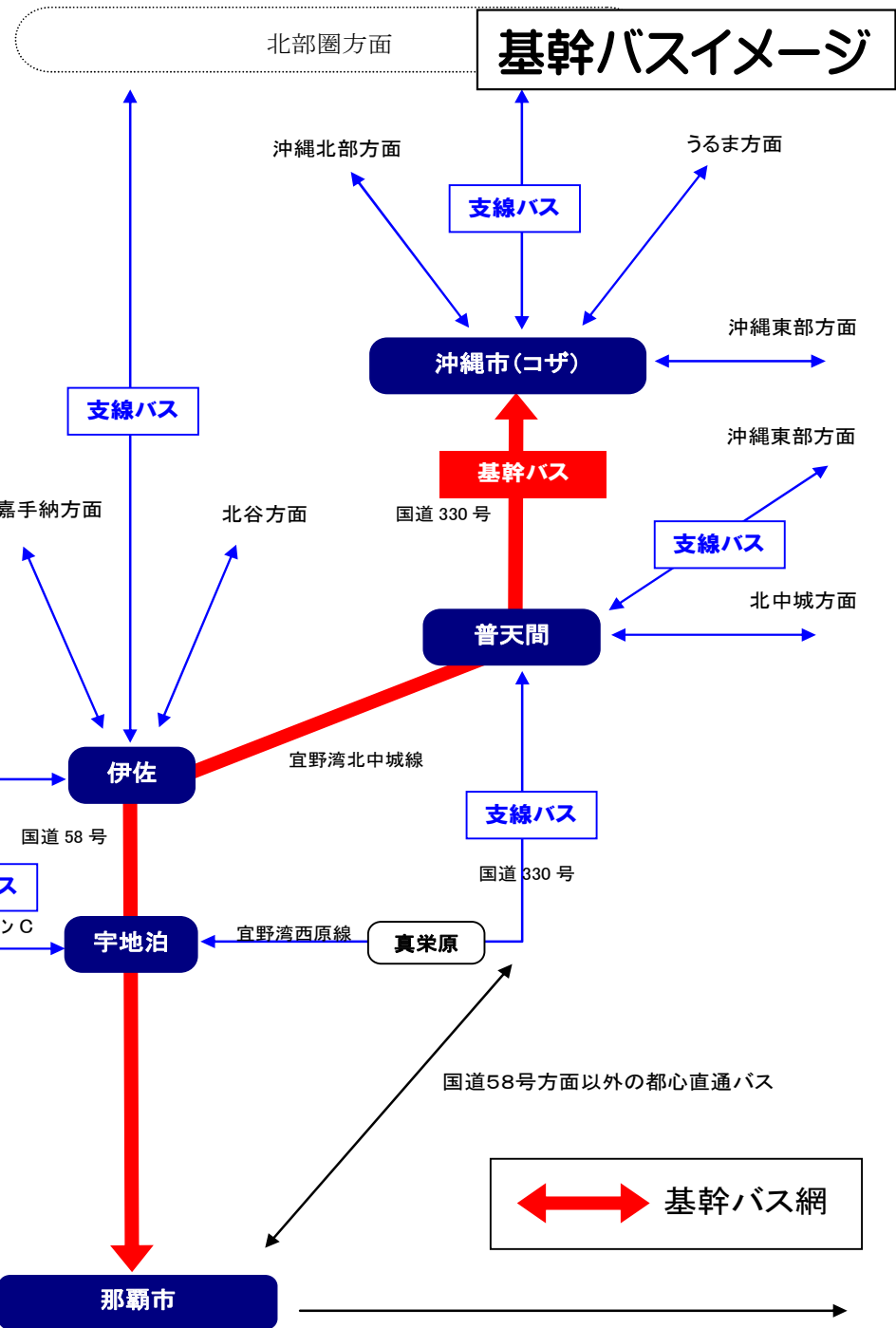
# 1. 基幹バスシステムのイメージ

## 現況



資料：バス運行時刻表  
 (平成 23 年 3 月現在)  
 / (社) 沖縄県バス協会

- 琉球バス交通・沖縄バス
- 琉球バス交通
- 沖縄バス
- 東陽バス

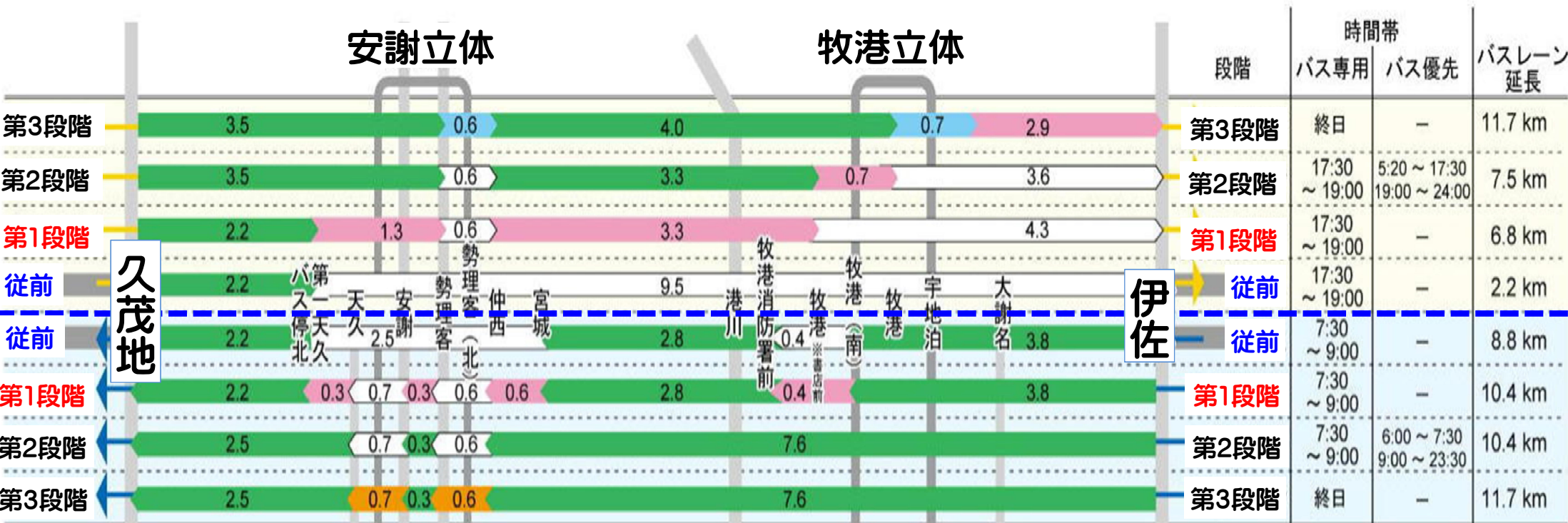


## 基幹バスイメージ

⇔ 基幹バス網

# 2. バスレーンの延長

- H27. 2. 2に37年ぶりにバスレーンが延長された（第1段階の延長）
- 第2段階以降の延長については、西海岸道路浦添北道路や浦添線などの整備状況を踏まえ H30年度以降に実施（第2段階=第1段階+バス優先レーン、第3段階=終日バス専用レーン）



➡ バスレーン (←進行方向)    
 ➡ 延長区間 (←進行方向)    
 ➡ バスレーン規制対象外 (←進行方向)    
 ➡ 周辺道路の整備状況に合わせて延長 (←進行方向)    
 ➡ 道路の拡幅整備を行った上で延長 (←進行方向)

国道 58 号    
 その他道路    
➡ ➡ バスの進行方向    
 ※図中の数字はバスレーンの区間別の延長 (km)



# 3. 公共車両優先システム (PTPS) 対応車載器導入事業

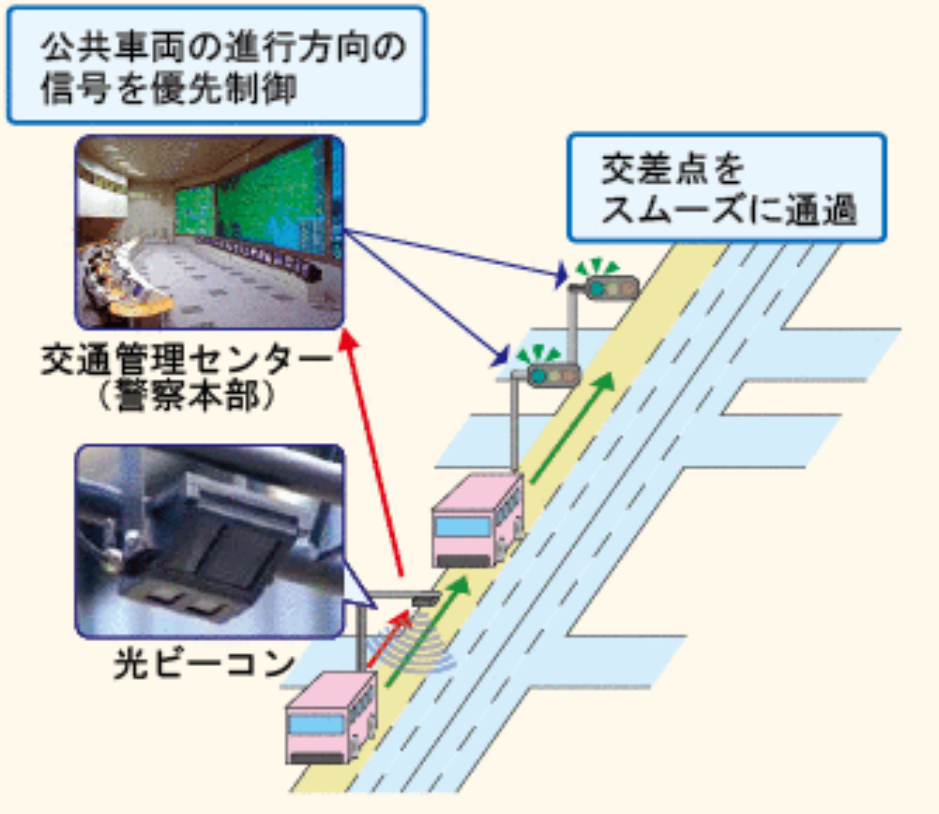
- 路線バスの定時・速達性を高めるため、公共車両優先システム(PTPS)に対応した車載器設置に補助
- 車載器から発信される信号を道路上の光ビーコンが受信し、交通管理センター経由で対象信号を制御し、バスを優先的に通過
- 交通管制センター、光ビーコン、信号制御装置については、沖縄県警察が整備・運用

■ 事業期間：H28～29年度

■ 総事業費：30,642千円

■ H28年度予算：17,002千円

■ 車載器導入計画 H28:143台 H29:100台



# 4. 急行バス運行実証実験

- 国道58号を中心とする基幹バスシステムの実現に向け、速達性や採算性等について検証
- 那覇～コザ間で、通常の各停バスより平均約10分短縮

- 実証期間：H28～30年度予定  
H28.10/3～（平日のみ）
- H28 予算：24,051千円
- 運行区間：基幹バスルート  
（那覇BT～コザ（各営業所））
- バス停数：45→13
- 運行系統：23急行、331、777  
各4往復運行



急行バス バス停（那覇バスターミナル ↔ コザ）



# 5. IC乗車券システムOKICAの拡張

## 経緯

- ・平成26年10月27日  
沖縄都市モノレール株式会社  
OKICA導入
- ・平成27年4月27日  
沖縄本島バス4社 OKICA導入
- ・平成27年12月～  
沖縄IC乗車券システム拡張協  
議会にて拡張協議開始



2014年にモノレールでサービス開始



2015年にはバスでもサービス開始



キーホルダー型も登場



現在は約16.7万枚 H28.9末時点  
将来的には約35万枚を発行予定

## ■利用範囲



拡大



利用範囲の拡大

モノレール・バス(本島4社)で、乗降車時に「ピッ」とかざすだけで代金の支払ができる

離島船舶やタクシーへも展開

# 6. バスなび沖縄、ルートファインダー沖縄

## バスなび沖縄(バスロケーションシステム)

- 本島バス事業者4社のバスロケーションシステム。
- パソコンやスマートフォンで、バスの接近、乗換、時刻表が見られる

## ルートファインダー沖縄(多言語交通検索システム)

- 日本語、英語、中国語、韓国語に対応したシステム
- 県内の路線バス、モノレール、航路、航空路で経路、路線検索が可能

### バスなび沖縄



沖縄本島の出発地と目的地の停留所を指定して、時刻表・運賃をご案内します。



Route Search in other languages  
ENGLISH

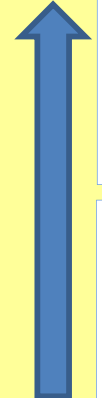
- [◎] 石嶺
- [◎] 石嶺入口
- [◎] 平安病院前
- [◎] 若夏学院前
- [◎] 若夏学院前 (9) [着]
- [◎] 平良
- [◎] 儀保
- [◎] 桃原
- [◎] 山川二丁目
- [◎] 山川
- [◎] 沖縄都ホテル前



### ルートファインダー沖縄



**③選択したバス停が出発地等に指定**



**②地図上でバス停を検索→選択**

**Route Finder Okinawa**

**④検索結果**

List of search results

Friday, October 07, 2016 16:49 Leave

**Okinawa Prefectural Office Ent.(North) ▶ Isa**

Indication order: Required time Pace of walking: Normally

\* These results provided for your reference only. Please give yourself extra time moving around in public transportation.

Route 1	Route 2	Route 3	Route 4	Route 5
2016/10/07 16:54 ⇒ 17:35				
Fare: ¥700 Time: 41minutes (The number of times to change) 1 time				
<b>Okinawa Prefectural Office Ent.(North)</b> 県庁北口 16:54 for Okinawa Ryōkuen 47でた二線・沖縄体育館前行 ¥230 6 min / 2 stops 17:00				
<b>Tomari Takahashi (Naha Tomari Port)</b> 泊船橋 17:05 77 Nago Higashi Line (via Toyohara) for Nago Bus Terminal 77名護東線・名護/ヌターミナル行 ¥470 30 min / 20 stops 17:35				

# 7. バス停のグレードアップ(大型標識、バス停上屋等)

○バス利用の環境改善を図るため、基幹バスルートにローマ字表記、大きなフォントを用いた路線図及び上屋等のバス停のグレードアップに取り組んでいる。

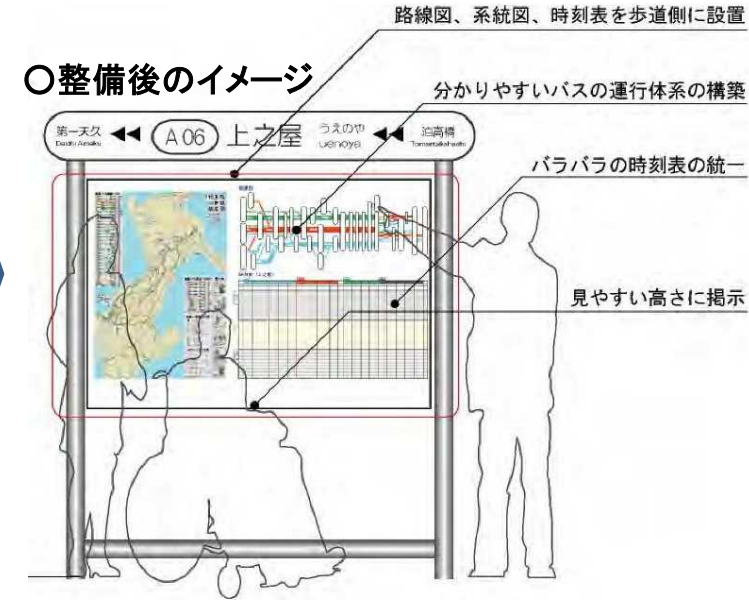


## ○バス停標識等の現状



縦長で狭いため、文字等が見づらい

## ○整備後のイメージ



## ○バス停グレードアップの事業計画

	H26	H27	H28	H29 以降	計
独立型標識	18	6	1	9	34
新設上屋	3		15	20	38
既存上屋添加型	10		1	5	16
計	31	6	17	34	88

## ○バス停グレードアップのタイプ

独立型標識	既存上屋添加型	新設上屋	
		那覇市	那覇市以外

※県中部土木事務所分含む(新設上屋 H26:2基、H28:4基)

# 8. 那覇バスターミナル整備事業

○乗合バスとモノレールの円滑な乗り継ぎ環境等を整備し、公共交通機関の利便性向上及び交通結節点としての機能強化を図るため、那覇バスターミナル再整備に対し補助

## ■ 整備期間：H27～30年度

※モノレール旭橋駅周辺地区第一種市街地再開発事業の一環で整備

## ■ 総事業費：18億円

(国6億、県6億、事業者6億)

## ■ H28年度予算：448,000千円

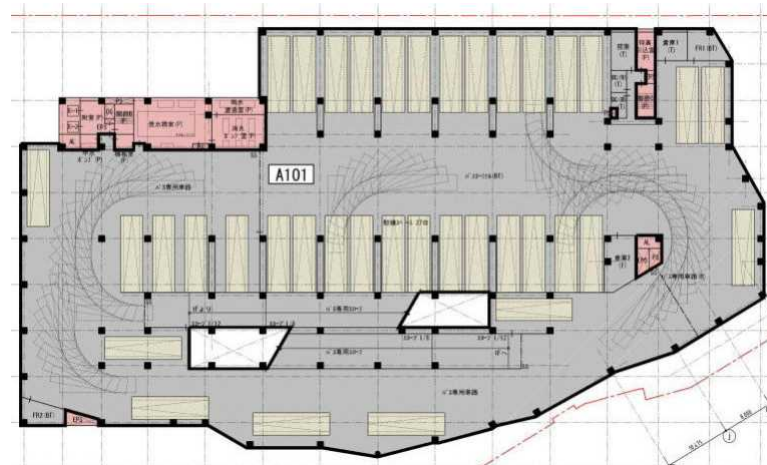
## ■ 施設構成

1F 乗り場、待合施設、  
事務所、商業施設等

B1F 駐機場



1F



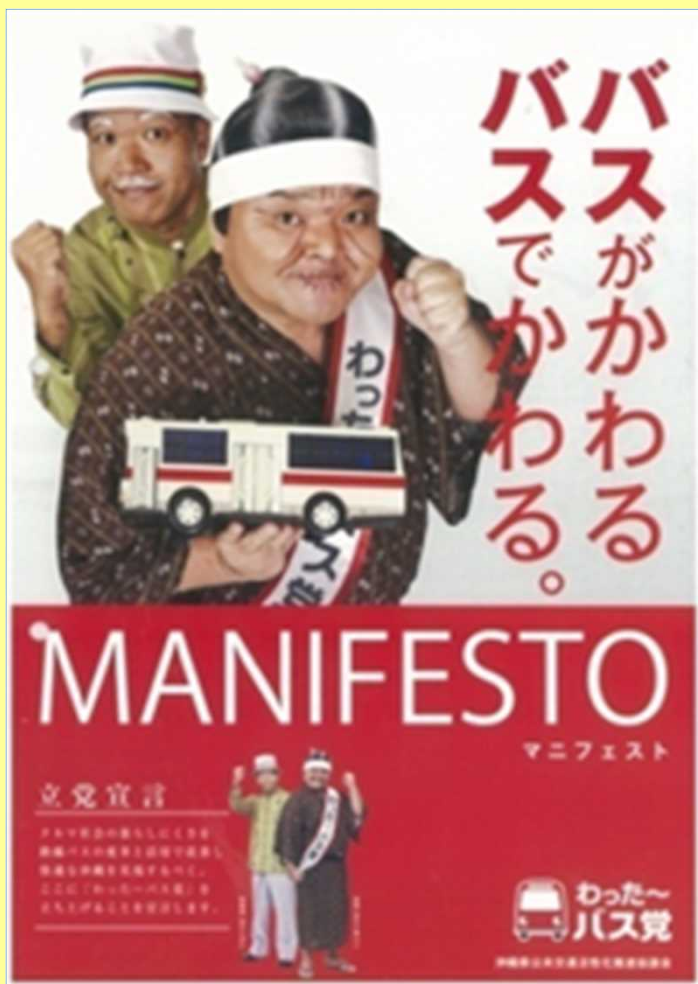
B1F

# 9. 広報活動(わった〜バス党)



- 路線バスに対する県民の意識を変え、過度な自家用車利用から路線バスへの転換を促進
- 平成24年12月に、お笑いタレント起用し「わった〜バス党」を立ち上げた
- 県の公共交通利用促進に係る施策をテレビ、ラジオ、新聞等を活用し県民へ広報活動を実施
- 法人党員を募集し、現在29社(総社員数 約12,700名) H28.10時点      ○個人党員数 10,659人 H28.2末時点

## 地元タレント活用



## 賛同する企業募集

**平成28年 わった〜バス党 法人党員募集要項**

**わった〜バス党の活動について**

県民の足である路線バスの変革と活用で快適な沖縄の実現を目指す「わった〜バス党」は、「県民の県民による県民のためのバス党」として精力的に活動します。

本年度も、県内の法人・団体を対象に、公共交通の体制構築の手段として、「わった〜バス党」法人党員を募集します。法人党員が増えることで「低炭素社会の実現」、「交通渋滞の緩和」などが期待され、さらには、「あるく」運動量・徒歩数が増加し、社員の健康増進にも繋がります。

よりよい沖縄のために、皆様ならびに県民のご理解とご協力が不可欠です。

**わった〜バス党 法人党員とは**

わった〜バス党の活動に賛同し、組織として公共交通の利用促進に取り組んでいる企業です。法人党員になると「OKICAカードの贈呈」、ラジオ番組や新聞などで取組紹介や企業PRが行えます。この活動を通して、公共交通の利用促進を行いたいと考えております。

**法人党員 対象となる企業**

従業員10名以上の法人・団体を基本とする

## テレビCM



## バスレーン周知



## ノンステップバス出発式

# 9. 広報活動(わった～バス党) その2

## 法人党員の参加特典

### ①OKICAカードの贈呈

新規加入企業には、最大で100枚のOKICAカードを贈呈します。※先着15社まで



### ②わった～バストークショー (ラジオ出演)

FM沖縄 (87.3MHz) の朝のラジオ番組「Final」のミニコーナー「わった～バストークショー」の中で、法人党員の取り組みをご紹介します。



### ③新聞で取組紹介

わった～バス党法人党員の取組企画で、公共交通の利用促進の取り組みをご紹介します。



### ④法人党員による側面支援

銀行による金利優遇  
(琉球銀行、沖縄銀行、沖縄海邦銀行)  
※金利優遇は銀行による審査あり  
セキュリティソフトの新規提供  
(C&Cアソシエイツ)



## 法人党員になるための条件 (下記項目①～④の中からどれか1つの実施)

### ア) 自家用車通勤からバス・モノレール通勤などへの転換

- ①従業員(基本3名以上)が、バス・モノレール・タクシー・自転車・徒歩通勤に新規転換
- ②従業員の8割以上が、すでに公共交通利用している企業(今後も公共交通利用を約束)
- ③その他独自の取組み(ex.ノーマイカーデーの実施等)

### イ) あいのり通勤への転換

- ④従業員同士(基本3名以上)で自家用車等でのあいのり通勤を実施

### ウ) 社内制度変更の実施

- ⑤バスレーン時間をさげた時差出勤制度を導入
- ⑥交通費支給額の増減(自家用車:減額、公共交通:増額)

### エ) 公共交通利用を促進するための側面的支援の実施

- ⑦ 法人党員を支援(金融機関による金利優遇等)
- ⑧ バス利用促進 広報協力(店内放送、広告物へ数回掲載など)



## 法人党員一覧 29社

### ①H26年度 9社

1. 株式会社C&Cアソシエイツ
2. 株式会社パム
3. 株式会社パムローカルメディア
4. 沖縄ユアサ電池販売株式会社
5. 沖縄都市モノレール株式会社
6. 株式会社琉球銀行
7. 株式会社沖縄銀行
8. 株式会社沖縄海邦銀行
9. 株式会社NTTドコモ沖縄支店

### ②H27年度 18社

10. 株式会社沖縄債権回収サービス
11. 社会福祉法人沖縄エンゼル福祉会 グッピー保育園
12. 株式会社OCS
13. 特定医療法人 葦の会 オリブ山病院
14. 三井住友海上火災保険株式会社
15. 金秀商事株式会社
16. ホテルサン沖縄
17. 株式会社エアー沖縄
18. 株式会社グランドシステム沖縄
19. 沖縄ICカード株式会社
20. 株式会社琉球新報社
21. 沖縄菱電ビルシステム株式会社
22. モスバーガー共栄会 沖縄支部
23. 株式会社センカ
24. 株式会社沖縄教販
25. ユーマーク株式会社
26. 株式会社沖縄タイムス社
27. 損害保険ジャパン日本興亜株式会社

### ③H28年度 2社

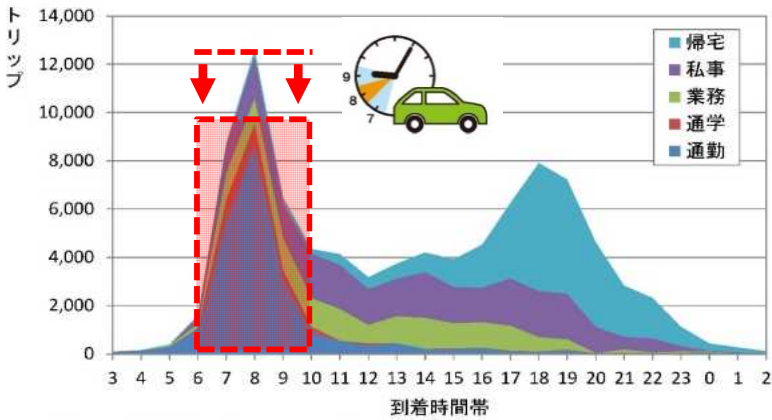
28. りらいあコミュニケーションズ株式会社
29. 沖縄高速印刷株式会社



# 10. 時差出勤の周知・拡大

○沖縄県庁は、「職員のワークライフバランスの充実」や「交通渋滞による通勤疲労の緩和」を目的に時差出勤を今年5月から実施。  
○今後は、近隣市町村や民間企業に対して導入を促し、ピーク時交通量の分散による、「交通渋滞の緩和」や「公共交通利用の利便性・快適性の向上」を図る。

各地域から那覇市内に流入する  
ピーク時交通量を分散



沖縄県庁(知事部局)は今年度5月から実施

**県職員時差通勤**  
5月に本格始動  
企業などにも呼び掛け  
県はことし5月1日から  
職員の時差通勤制度を本格的に開始する。職員のワークライフバランス(仕事と生活の調和)の充実や交通渋滞による通勤疲労の緩和が目的。県人事課と県職員労働組合(県職労)による13日の団体交渉で正式に合意した。

現在は午前8時30分出勤だが、7時30分から9時30分まで30分刻みの5通りの出勤時間を選ぶことができる。合わせて県交通政策課は市町村や企業に時差通勤制度導入を積極的に呼びかけていく考えだ。

5月開始に向け、4月に職員から希望を聞き取り、公務に支障がない範囲で設定する。対象は知事部局の一般職員。統括監などの管理者は既に育児、介護のための早出・遅出勤務をしている職員などは対象外になる。

人事課が2014年11月に実施した職員へのアンケートでは時差通勤について「導入すべき」「どちらかといえど導入すべき」と答えた割合が84.3%を占めた。また交通政策課は時差通勤導入によって交通渋滞の緩和や公共交通の利用を促した考えで、まず県庁から取り組み、市町村や企業へ呼び掛けたい」と話した。

琉球新報平成28年1月23日

那覇市内のピーク時交通状況



イメージ

拡大後



## 「時差出勤」のすすめ

### 時差出勤の目的

○マイカーによる通勤は、「地球温暖化の原因」、「道路渋滞の要因」等、社会的に悪影響のある側面を強調されることが多いです

近隣市町村や民間企業へ、時差出勤導入の効果を示した冊子を作成し、啓発活動に取り組む

○キーワードは・・・「時間の転換」です

沖縄県では、慢性的な渋滞緩和、CO<sub>2</sub>排出量の削減等を目的として、「時差出勤」の導入を進めています  
「時差出勤」とは、通勤時間帯のピーク時間帯を外して通勤することにより、道路渋滞を避けて通勤する取り組みです

各事業所の主体的な「時差出勤」の取り組みを支援するために、様々な支援メニューを検討しています

この機会に、「時差出勤」の推進をご検討ください

# 11. パーク&バスライドの検討

- 那覇市内への通勤時の移動手段を自家用車から公共交通利用へ転換し交通渋滞を緩和するため、宜野湾市普天間以北において、パーク&バスライドを検討している。
- 公共交通網が不十分な地域(沖縄市泡瀬近辺)を対象に、バスレーンが利用できる基幹バスルート沿線の駐車場からバスに乗り換えることで利便性の高い、快適な移動手段を確保する。

## 公共交通と連携したTDM施策の推進



# 12. 公共交通利用環境改善事業

## ① ノンステップバス導入 (524+85= 609百万円)

高齢者や障がい者を含む全ての人が利用しやすいノンステップバスを導入



H24~H27まで計152台導入

H28:37+6 = 43台(補正含)

(H24:40, H25:40, H26:40, H27:32)

## ② 多言語対応機器等導入 (143百万円)

### A. 行先電光表示器導入 (53百万円 50台)

バスの車両前面に、伊佐経由コザ向けを赤、真栄原経由コザ向けを緑、読谷方面は青で表示

H26:115、H27:78、H28:50 計:243台

### B. バス停標識導入 (90百万円 13箇所【標識のみ2、上屋+標識11】)

バス停標識の大型化とわかりやすさを向上

標識のみ H26:29、H27:6、H28:2、H29~:14 計:51箇所

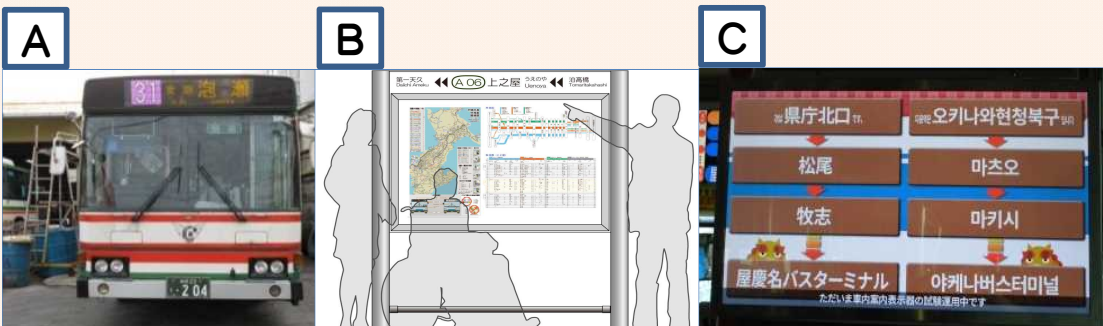
上屋+標識 H28:11、H29~:20 計:31箇所

合計:82箇所

### C. 車内案内表示器導入 (112百万円【H27繰越】 200台)

バス車内における多言語表示

H28(H27繰越):200台 H29:200台(予定)



## ③ 公共車両優先システム車載器導入

H28新規

(6+11=17百万円 143台)

路線バスの定時性を確保するため、県警と連携し、バスが交差点に近づくと青信号時間が延長する等のシステムに対応する車載器を導入

※交通管制システムは県警が運営

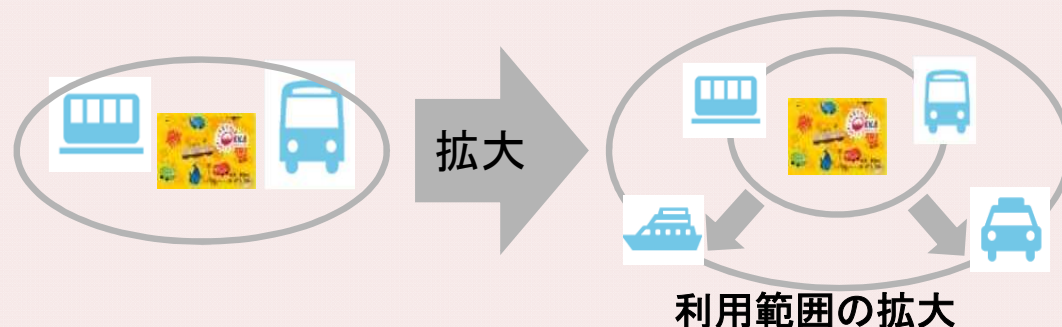
H28:43+100=143(補正含)、H29:100 計:243台

※公共車両優先システム(PTPS)とは・・・

バスなどの定時運行を確保し、公共交通機関の利用を促すシステム。バスなどに搭載した車載装置から送信されるIDを光ビーコンが受信し、その情報を基にバスなどがスムーズに交差点を通過できるように、交通管制センターで青信号の延長や赤信号の短縮を行う。

## ④ IC乗車券 拡張利用の検討 (24百万円)

離島船舶、タクシーにOKICA拡張を行うためのワーキング・協議会の開催、仕様書に基づく交通事業者の合意形成、最終システム仕様書の作成を委託し、システム開発に繋げる委託検討業務



# 12. 公共交通利用環境改善事業

## ⑤公共交通利用促進に関する広報活動(60百万円)

路線バスに対する県民の意識を変え、自家用車から路線バスへの利用転換を促進させることを目的とする。

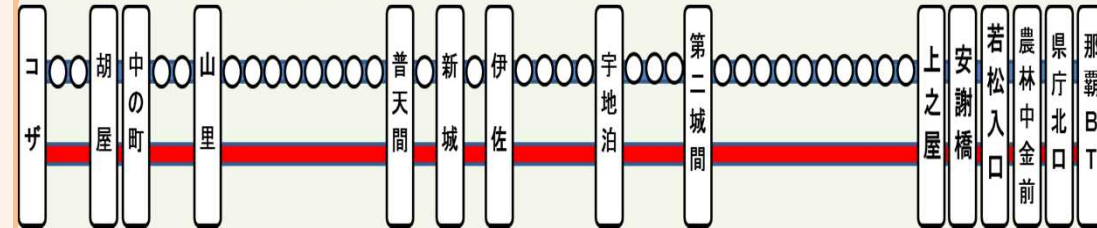
ラジオ、新聞、ニュースレター、キャラバン、キャンペーン等を年間を通して実施する



## ⑥急行バス運行 実証実験 (25百万円)

H28新規

- ・急行バスを1日最大24本(12往復)運行
- ・急行バスの速達性や利用状況の変化等を分析



# 13. 沖縄地方渋滞対策推進協議会

## 沖縄地方渋滞対策推進協議会の概要

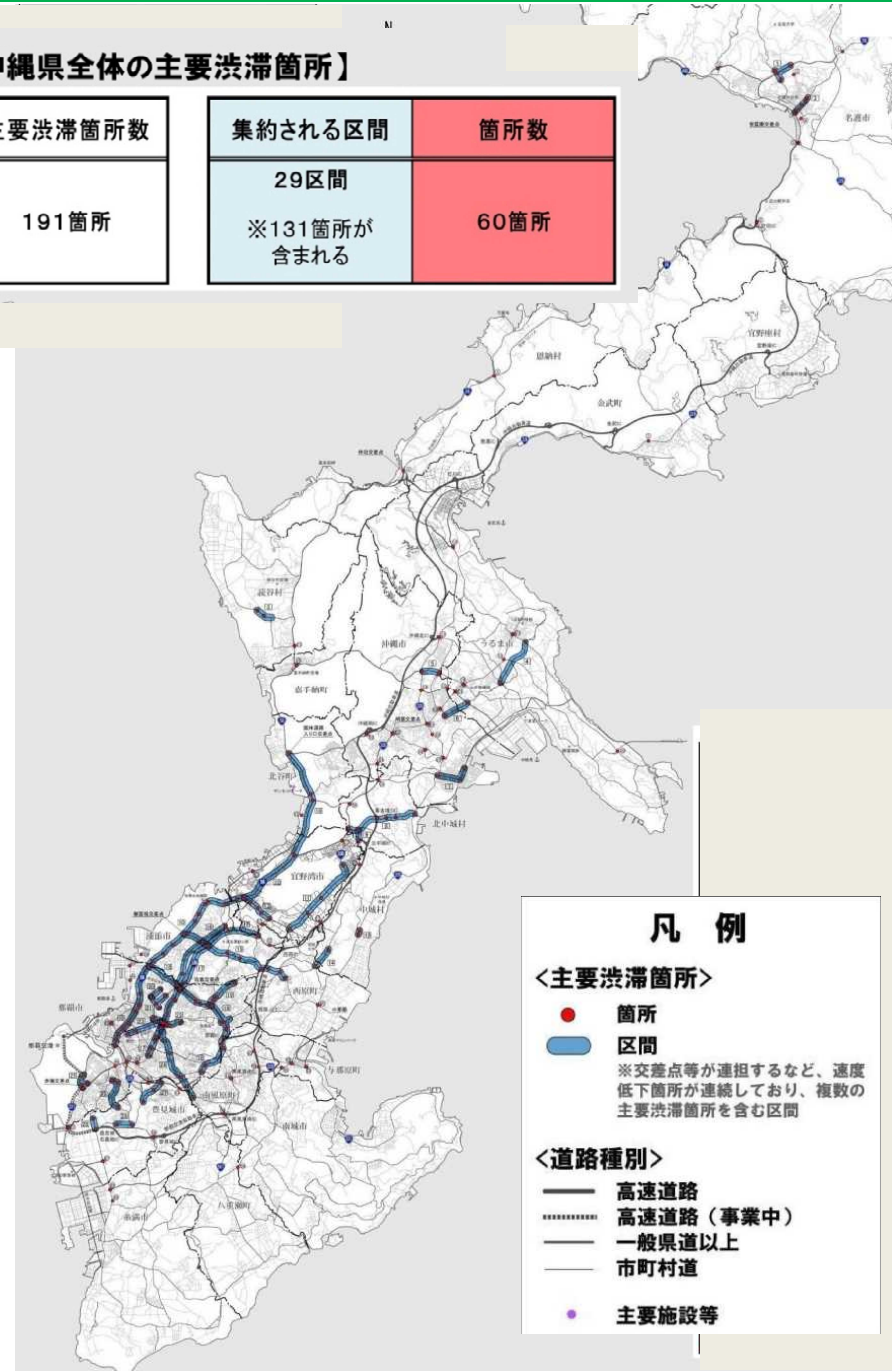
沖縄総合事務局、沖縄県、県警本部、NEXCO西日本、那覇市

### 目的・主旨

沖縄地方の厳しい道路交通渋滞の状況に鑑み、当該地域における渋滞緩和・解消を図るために、関係者が協力し、渋滞の改善についての方策を検討し、渋滞等にかかる総合的な改善の推進を図る。

### 【沖縄県全体の主要渋滞箇所】

主要渋滞箇所数	集約される区間	箇所数
191箇所	29区間 ※131箇所が含まれる	60箇所



### 対策方針

#### 北部地域交通円滑化WG

沖縄総合事務局、沖縄県、県警本部、NEXCO西日本、国頭村、大宜味村、東村、名護市、今帰仁村、本部町、宜野座村、金武町、恩納村

#### 中部地域渋滞対策WG

沖縄総合事務局、沖縄県、県警本部、NEXCO西日本、うるま市、沖縄市、北中城村

#### 南部地域渋滞対策WG

沖縄総合事務局、沖縄県、県警本部、NEXCO西日本、読谷村、嘉手納町、北谷町、宜野湾市、中城村、浦添市、西原町、那覇市、与那原町、南風原町、豊見城市、南城市、八重瀬町、糸満市

(北部地域)  
バイパス整備による交通容量の拡大(名護東道路)、ソフト対策

(中部地域)  
南北方向・東西方向の道路整備による交通容量の拡大、交差点改良などのボトルネック対策

(南部地域)  
2環状7放射道路の整備による交通容量の拡大。ソフト対策(利用時間の分散、交通経路の分散、交通手段の分散)によりワースト1脱却を目指す。

### 凡例

#### <主要渋滞箇所>

- 箇所
- 区間
- ※交差点等が連担するなど、速度低下箇所が連続しており、複数の主要渋滞箇所を含む区間

#### <道路種別>

- 高速道路
- ..... 高速道路(事業中)
- 一般県道以上
- 市町村道
- 主要施設等

# 14-1. 道路ネットワーク(2環状7放射道路)の構築

那覇都市圏の交通の円滑化を図るため、**交通容量拡大**、**交通経路の分散**の施策を推進する。

## 1. 現状と課題

### ○深刻な渋滞状況

那覇都市圏は、那覇市を中心に人口が集中しており、朝夕ピーク時には、流入交通が集中し、交通容量不足となっている。

那覇市内の平均混雑時旅行速度は、政令指定都市と比べ低く全国ワースト1位となっている。

## 2. 2環状7放射道路の整備計画

### ①放射道路

那覇中心部と周辺都市を結ぶ交通容量が大きく速達性が高い路線。

- 1 国道58号
- 2 国道330号
- 3 那覇インターアクセス、沖縄自動車動
- 4 県道22号線、南風原バイパス、与那原バイパス、国道329号
- 5 国道507号、南部東道路
- 6 国道507号
- 7 県道221号線、国道331号、豊見城道路、糸満道路

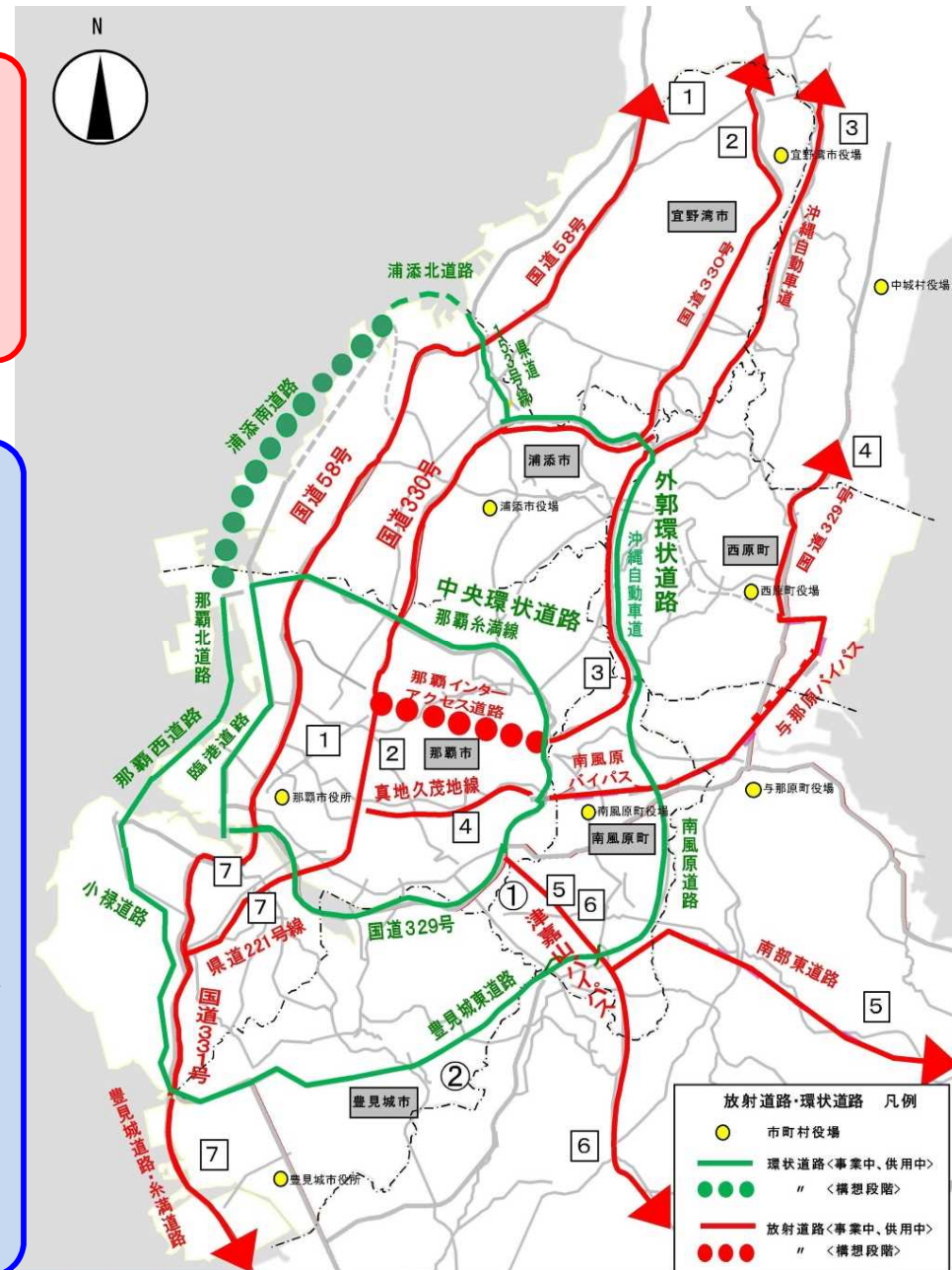
### ②環状道路

バイパス機能、分散導入機能、地域間連絡機能が期待できる路線

- 1 中央環状道路→国道329号、臨港道路、県道82号線
- 2 外郭環状道路→国道330号、沖縄自動車動、那覇空港自動車道(南風原道路、豊見城東道路、小禄道路、那覇西道路、那覇北道路、浦添南道路、浦添北道路、県道153号線)

### ③構想路線

那覇インターアクセス線、浦添南道路



# 14-2. 道路ネットワーク(ハシゴ道路)の構築

「道路のアンバランスな使われ方」や「那覇都市圏の深刻な交通渋滞」、「東西分断により沖縄自動車道ICへのアクセス性の低下」等の問題を解消するために「ハシゴ道路」の整備を推進します。

## 1. 現状と課題

### ○道路のアンバランスな使われ方

沖縄県を縦貫する幹線道路は、交通容量を超過する交通を処理するのに対して、沖縄自動車道は交通容量に余裕がある。

### ○深刻な渋滞状況

那覇市内の平均混雑時旅行速度は、政令指定都市と比べ低く全国ワースト1位となっている。

### ○米軍基地による分断

基地などによる地域分断から高速道路の利便性が低下している。

## 2. ハシゴ道路の整備計画

### ①南北を走る強固な「3本の柱」

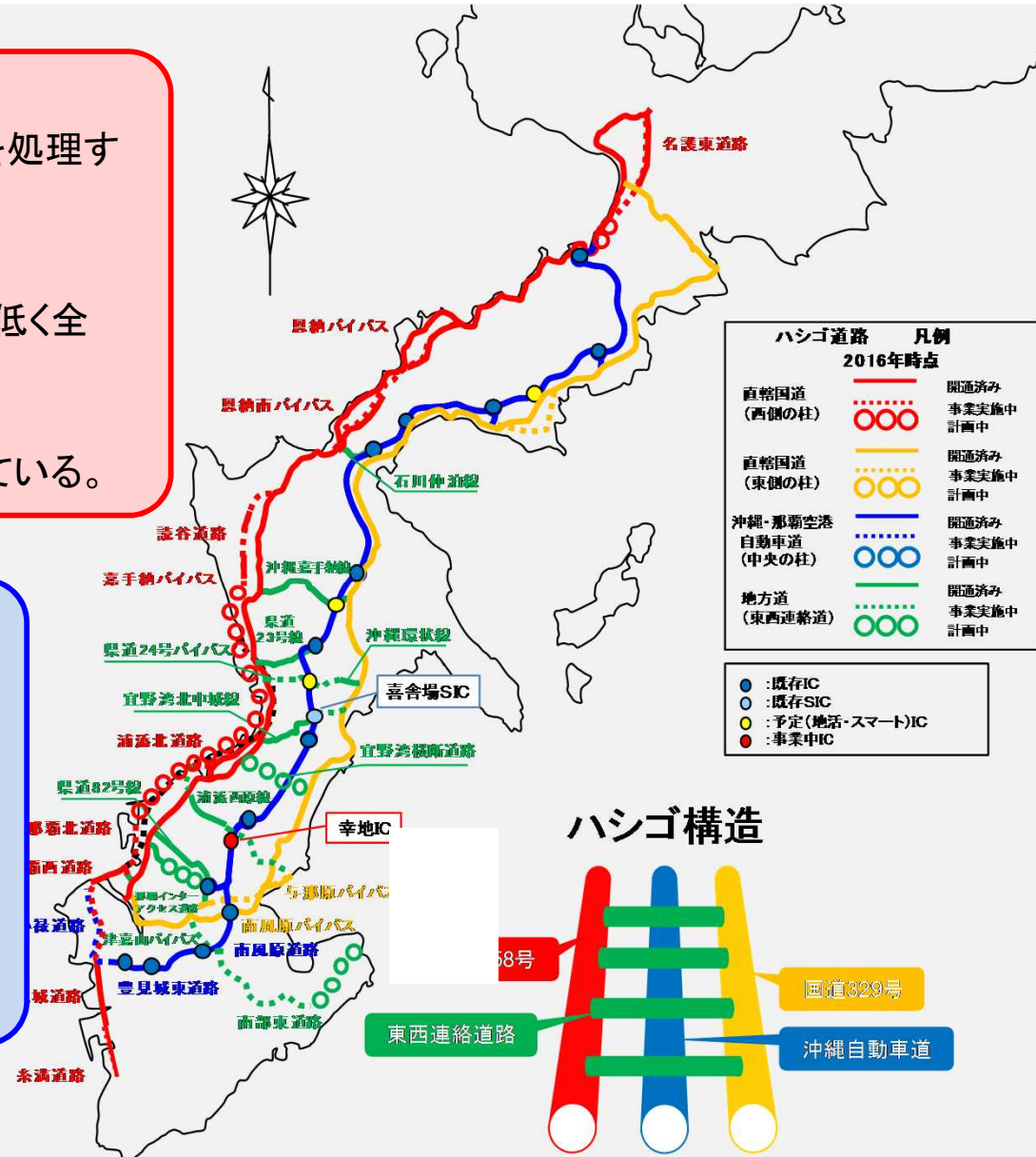
国道58号(西海岸道路)、329号、沖縄自動車道など

### ②柱を支える「東西連結道路」

浦添西原線、宜野湾北中城線、沖縄嘉手納線、沖縄環状線、県道24号パイパス、国道507号、南部東道路など

### ③高速を使いやすくするICの増設

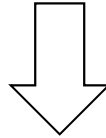
### ④モノレールと高速バスの連携



# 15. 沖縄自動車道の有効活用

○道路のアンバランスな使われ方

○東西分断により沖縄自動車道ICへのアクセス性の低下



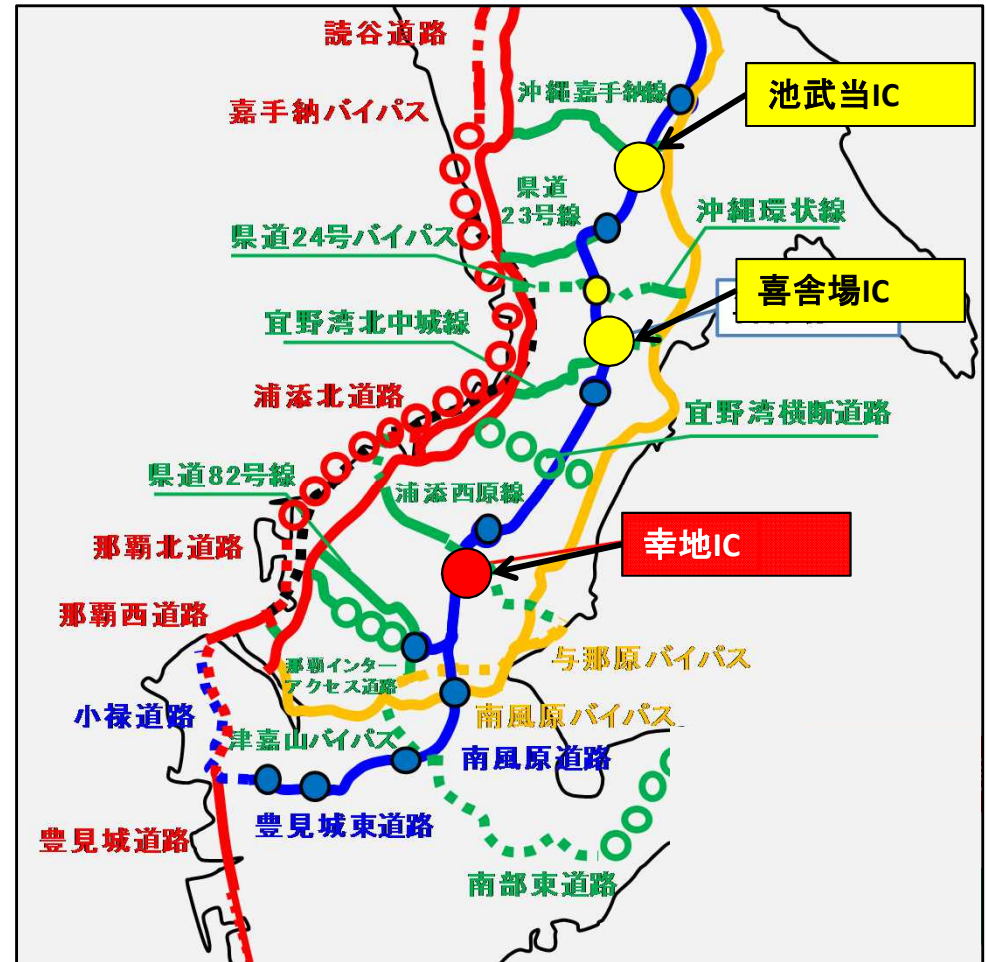
沖縄自動車道への追加IC・SIC等の整備・検討

(整備中)

- ・幸地インターチェンジ  
県道幸地インター線を介し、沖縄自動車道と浦添西原線及びモノレールを結節する。

(検討中)

- ・喜舎場インターチェンジ  
沖縄自動車道と県道宜野湾北中城線を連結する。現在の上り線的那覇向け1/4のスマートインターチェンジを、フル化のインターチェンジの整備に向けて検討中。
- ・池武当インターチェンジ  
池武当交差点付近にて、インターチェンジの形状や、接続路線を検討中。





## 宜野湾西原線

国道58号と国道330号、国道329号を結ぶ横断道路で東西を結ぶ重要な路線である。  
地域内交通や通過交通が混在し、慢性的な交通渋滞が発生している。



## 短期対策

車線運用の変更(停車帯、路肩等幅員を縮小し、区画線を引き直して付加車線を設置



▲交通混雑状況(真栄原交番前→大謝名交差点向け)



▲右折車の交通混雑状況(真栄原交差点→広栄向け)

片側一車線、右折帯がないことから右折車の直進障害が生じ、渋滞の増大を助長

着手前



完成

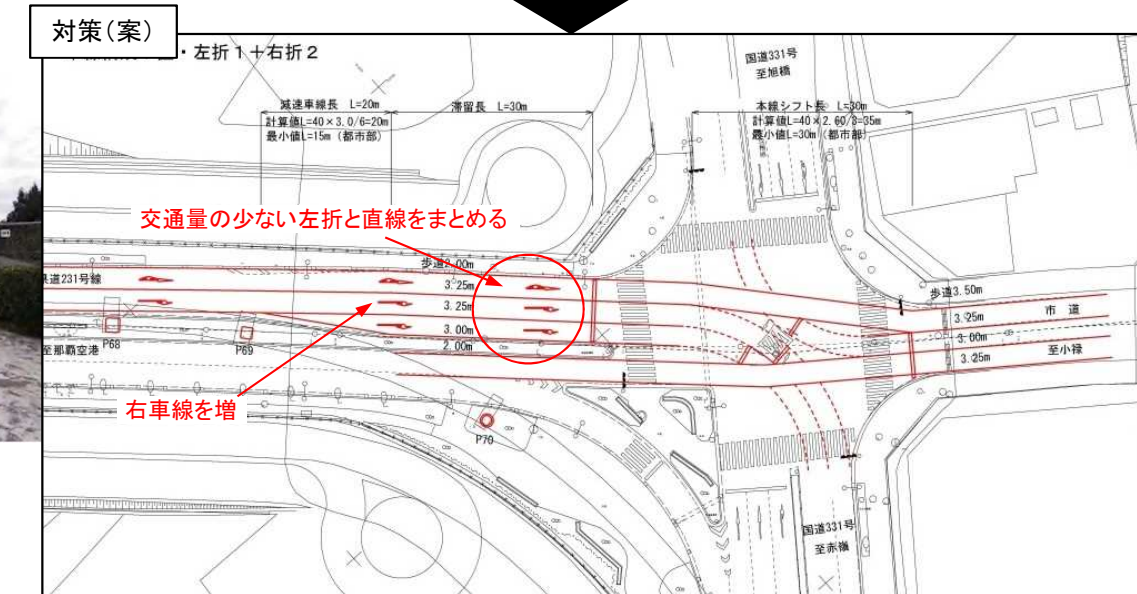
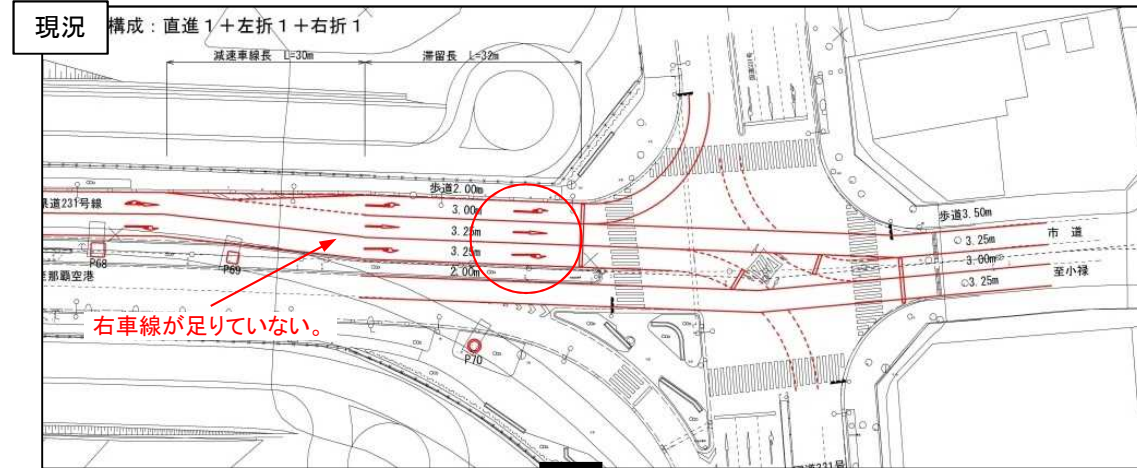


## 安次嶺交差点

安次嶺交差点は、県道231号線(那覇空港線)と国道331号を接続する交差点である。当該箇所是那覇空港から南部地域へアクセスする交差点であり、交通渋滞が発生している。



## 短期対策(案) 車線運用の変更 (直進1+左折1+右折1)→(直・左折1+右折2)



右折の交通量が多く渋滞が発生。

# 17. 沖縄都市モノレール延長

## 延長の目的

- ① 中北部地域を含めた広域的な公共交通ネットワークの形成を図る。
- ② ゆいレールの利便性を向上させ、自動車から公共交通への交通手段転換を促進させる。

## 延長の効果

### ① 広域的な公共交通ネットワーク形成



例	名護市 那覇市	高速バス+ゆいレール	98分
		自動車(一般道路)	115分
		路線バス(一般道路)	140分
例	沖縄市 那覇市	高速バス+ゆいレール	42分
		自動車(一般道路)	75分
		路線バス(一般道路)	76分



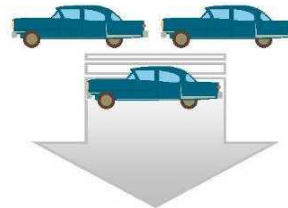
交通広場、パーク&モライド駐車場

ゆいレールに乗り換えて、勤務地や商業施設へ

### ③ 駅を核としたまちづくりの促進



### ② 自動車から公共交通への転換



1,000haの  
森林同様の  
削減効果



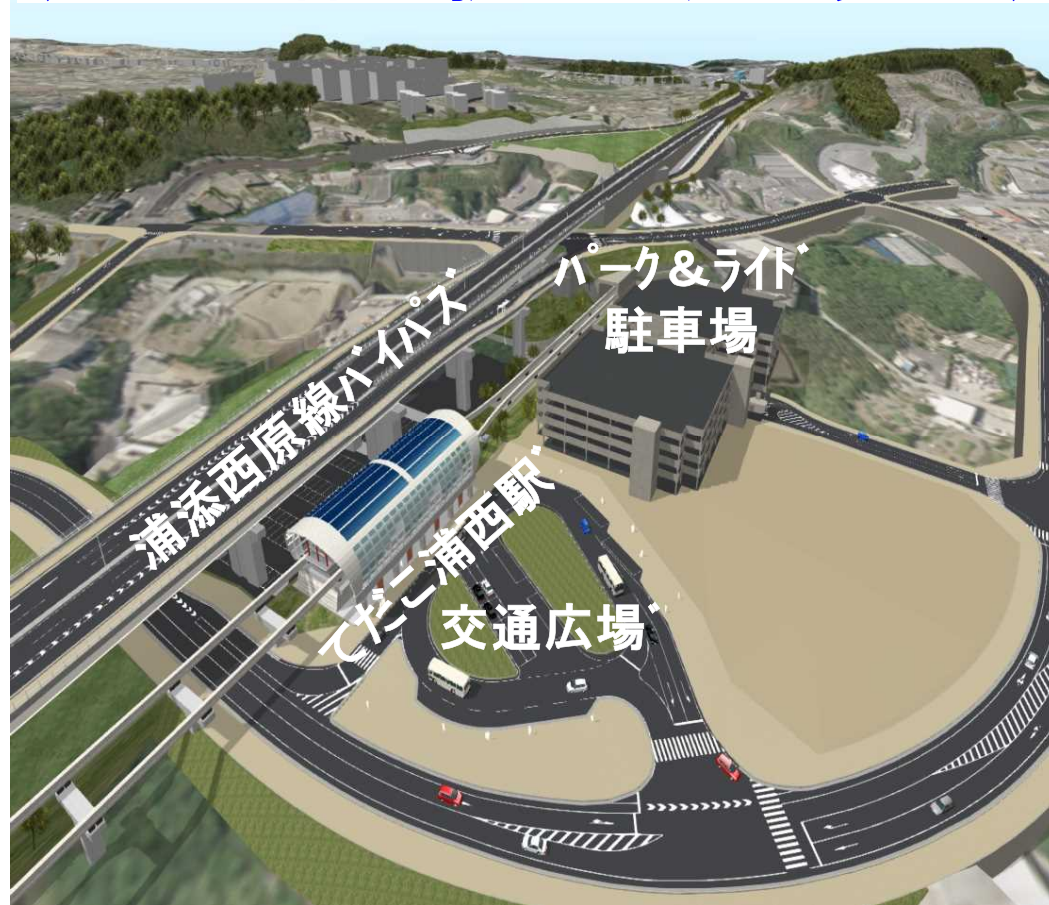
# 18-1. 交通結節点の整備

○終点であるてだこ浦西駅は、新設する幸地インターチェンジにより沖縄自動車道結節させ、1,000台規模のパーク＆ライド駐車場や交通広場を整備し、中北部からの自動車交通をモノレールに転換をすることで、那覇都市圏の渋滞緩和に寄与することを目的としています。

## (幸地インターチェンジ)



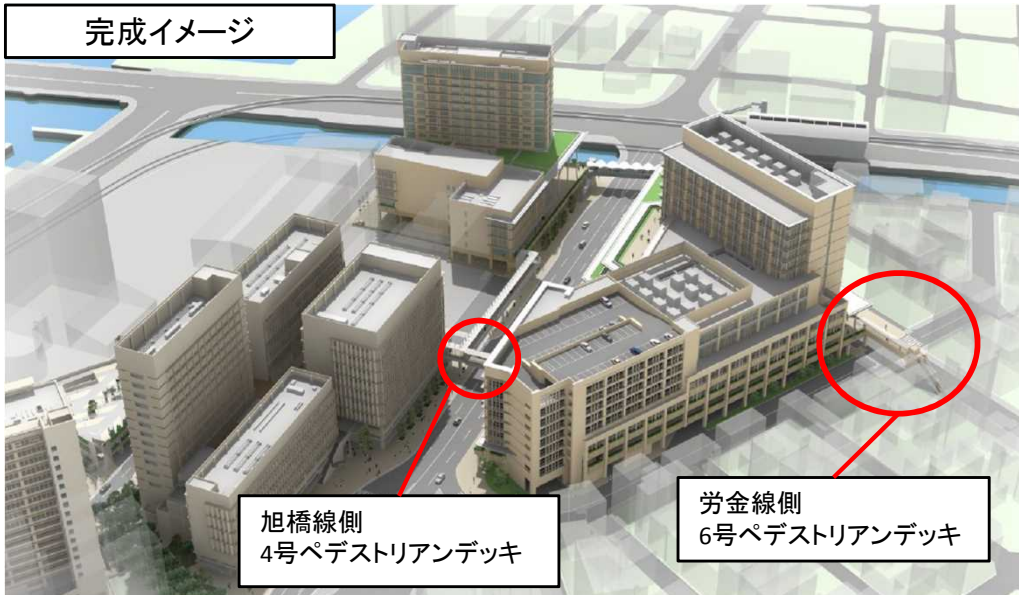
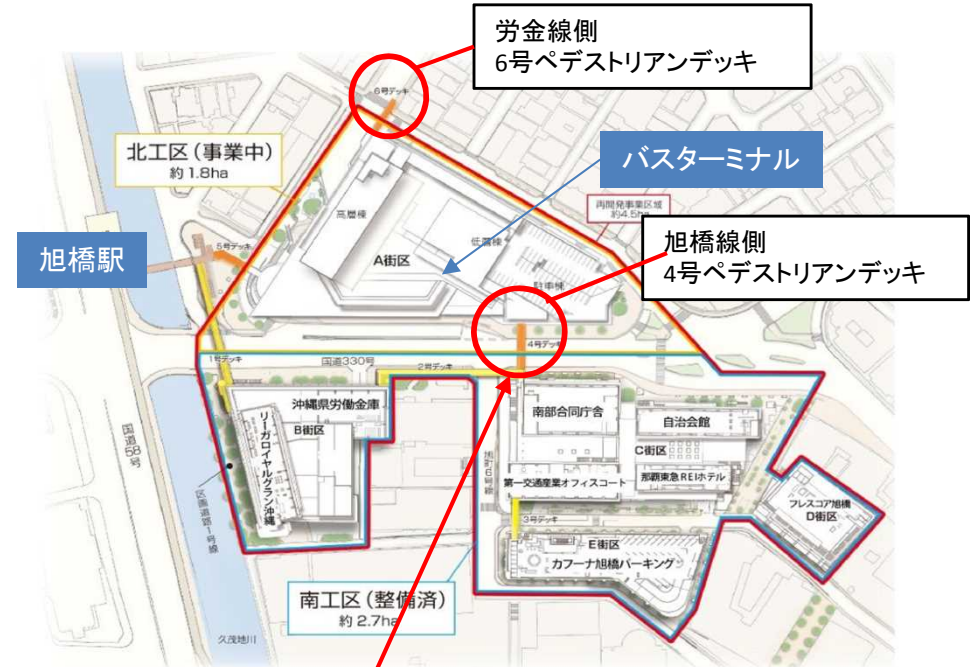
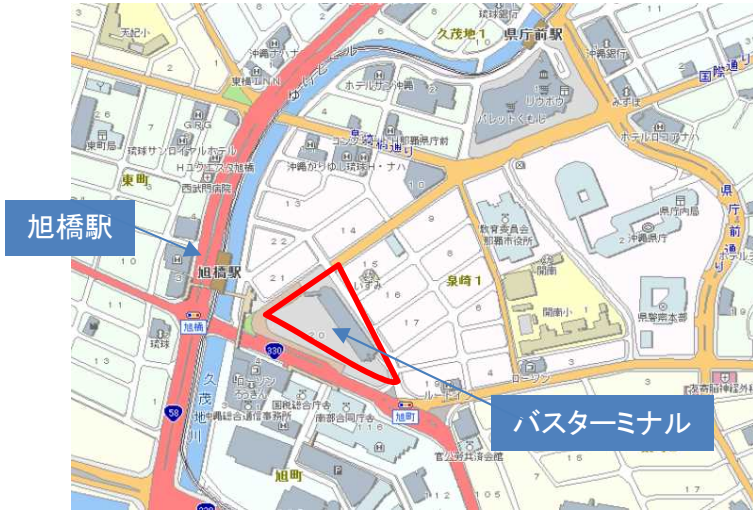
## (てだこ浦西駅パーク＆ライド)



# 18-2. 交通結節点の整備

## 交通結節点改善事業（ペDESTリアンデッキ）（計画中）

公共交通機関の利用促進を図るため、旭橋周辺の再開発事業によるバスターミナル等の施設改築と連携し、ペDESTリアンデッキの整備を行う。



- ①今年度より**自転車の利用促進**のため  
『サイクリングコネクト支援業務』を発注。
- ②『サイクリングコネクト支援業務』の目的・内容

目的⇒①**渋滞対策**として自転車利用、  
環境改善、普及啓発の充実。  
②他部局との連携強化。

内容⇒①協議会の設置・運営  
②自転車についての現状の調査・検討  
③普及啓発等の実施  
④短期・中長期におけるロードマップの作成

目的：他部局との連携強化（関係機関一体（横串）となった行政サービス）

協議会 参加メンバー（案）

①土木建築部、企画部  
（道路管理課、交通政策課）

②文化観光スポーツ部  
スポーツ振興課

③保健医療部  
（健康長寿課）

④沖縄県警

⑤教育庁  
保健体育課

⑥環境部  
環境政策課

※縦串（国、市町村）に関しても会への参加を促し積極的な参加を求める。

連携（意見交換）

・各部局にて、ソフト・ハードの施策展開

# 19-3. 自転車利用の促進 各地での取り組み

## 名護市

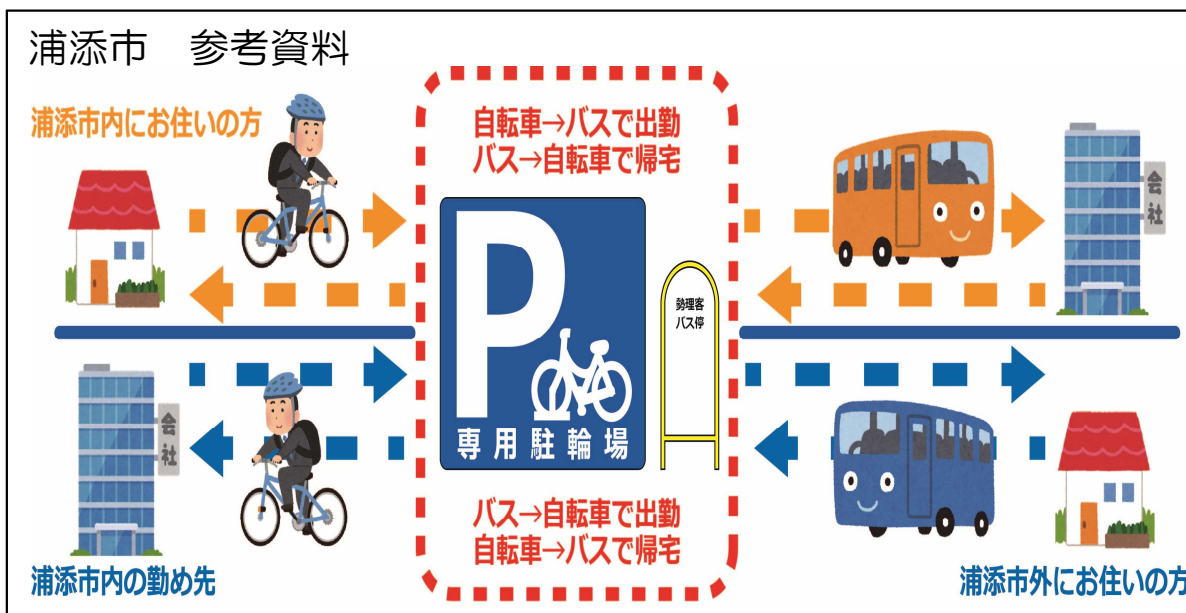
- ①平成23年度に自転車ネットワークの設定。
- ②県が平成28年度より県管理道路実施設計。

## 浦添市

- ①平成26年度浦添市自転車ネットワーク計画策定。
- ②現在、サイクル・アンド・バスライドの実証実験中。

## その他

- ①県は、玉城那覇自転車道線(延長=約25km(予定))を整備中。





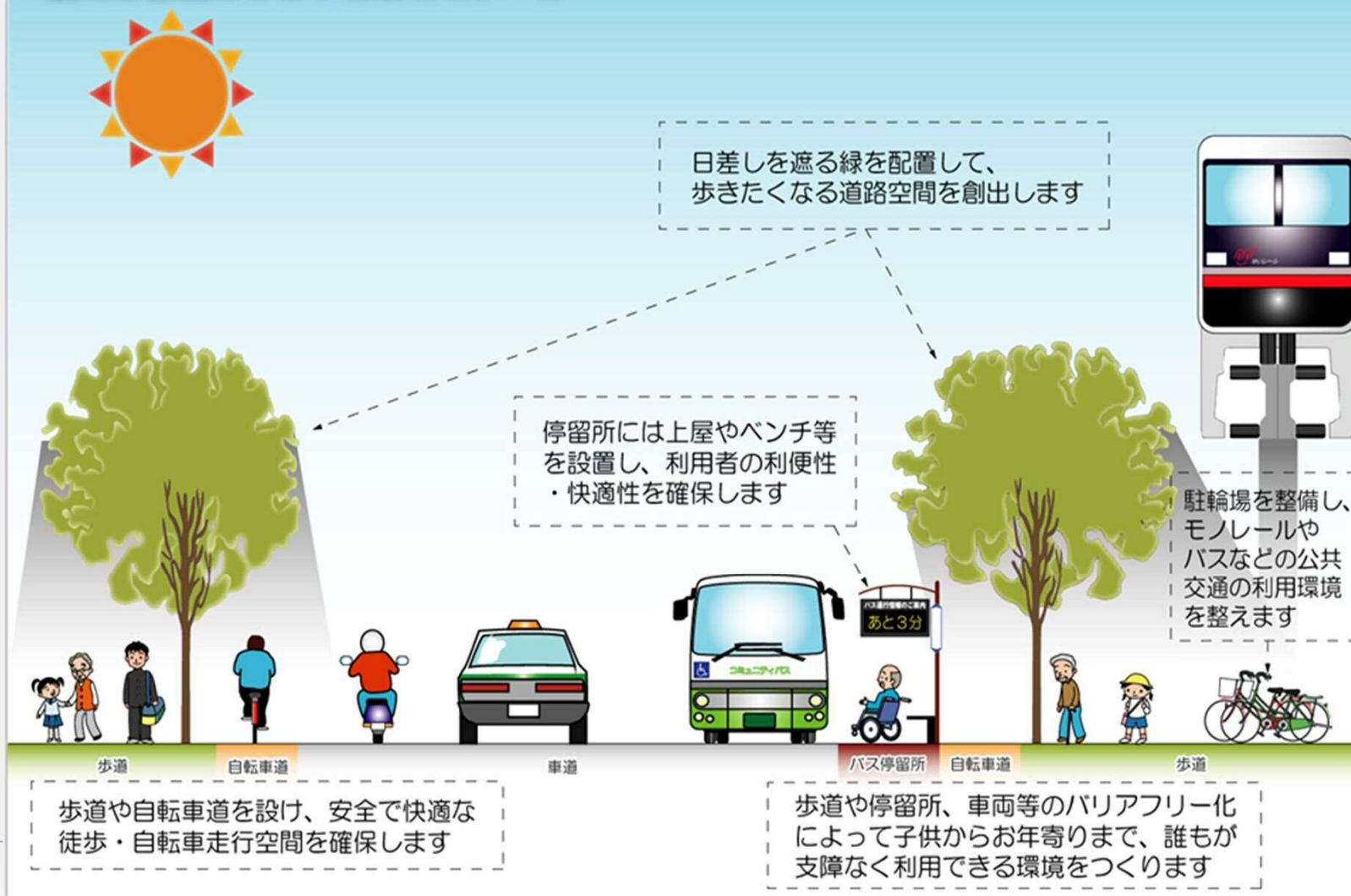


# 那覇の交通に関する取組について

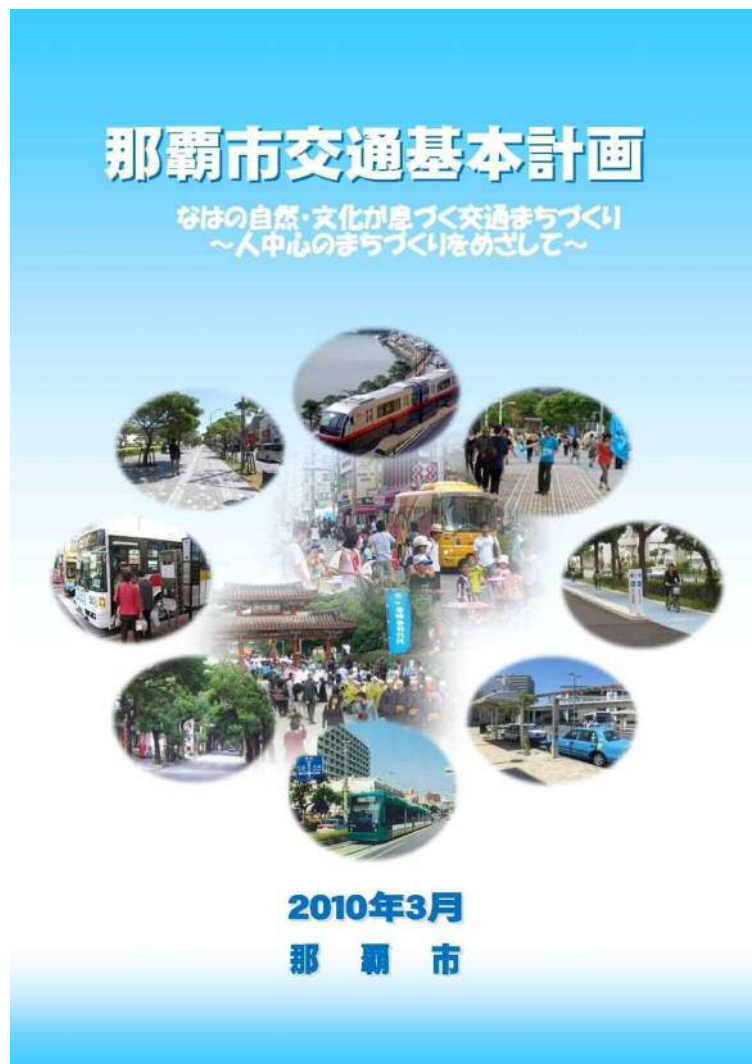
那覇市

# 誰もが移動しやすいまち

## 誰もが移動しやすいまちのイメージ



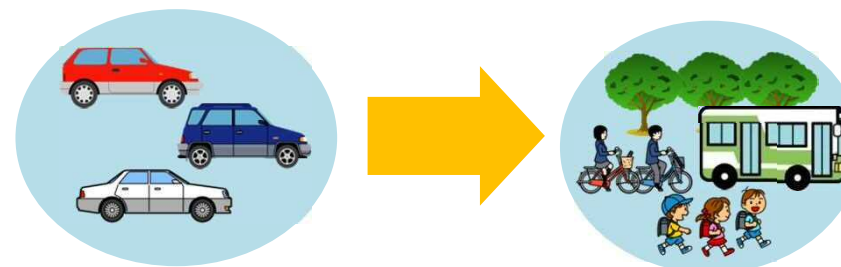
# 那覇市交通基本計画



那覇市の交通に特化した、概ね20年後の2030年を目標年次とした長期的な計画

## 《基本理念》

なはの自然・文化が息づく交通まちづくり  
~人中心のまちづくりをめざして~

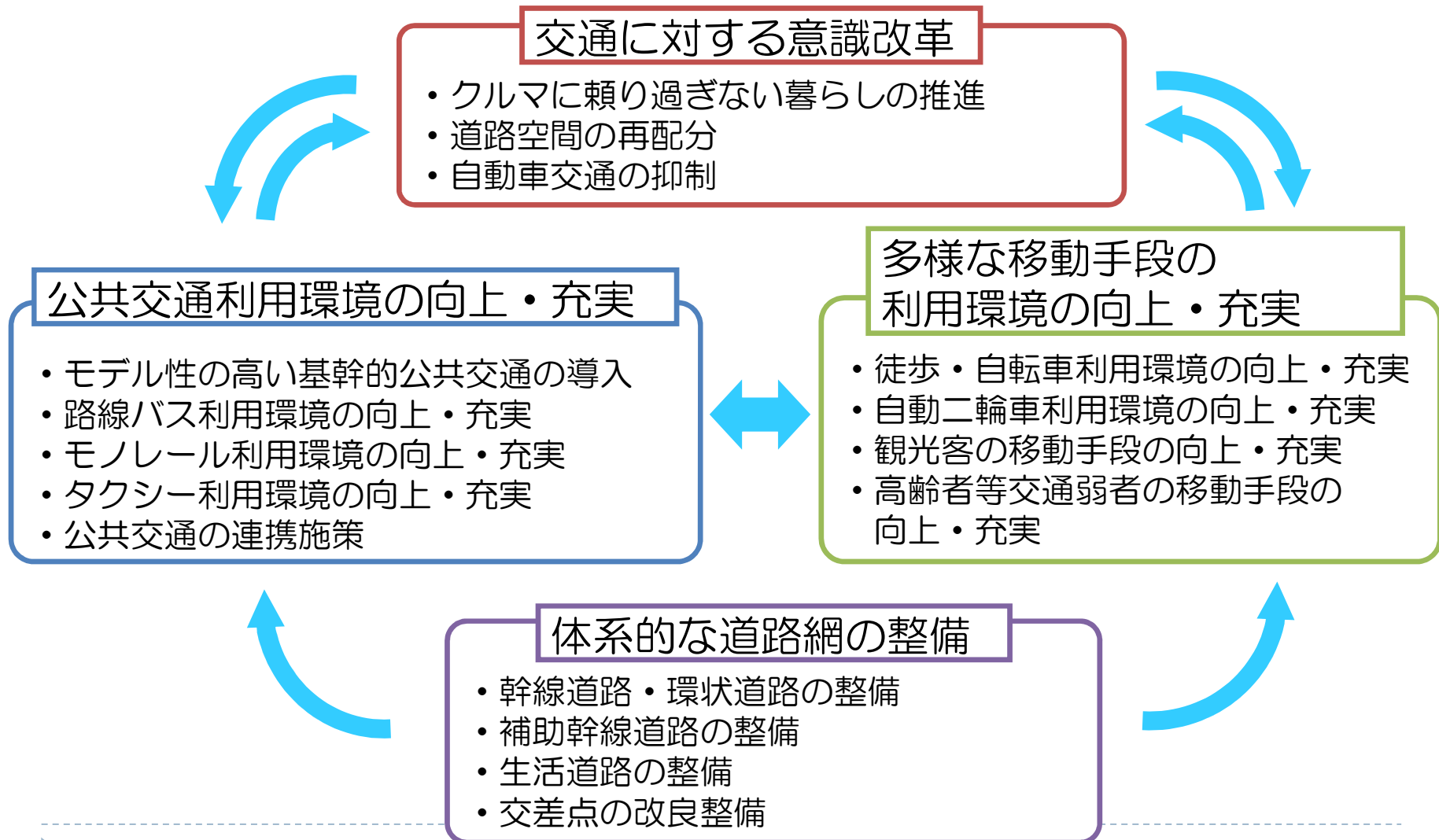


『車中心のまち』から『人中心のまち』へ

## 《基本目標》

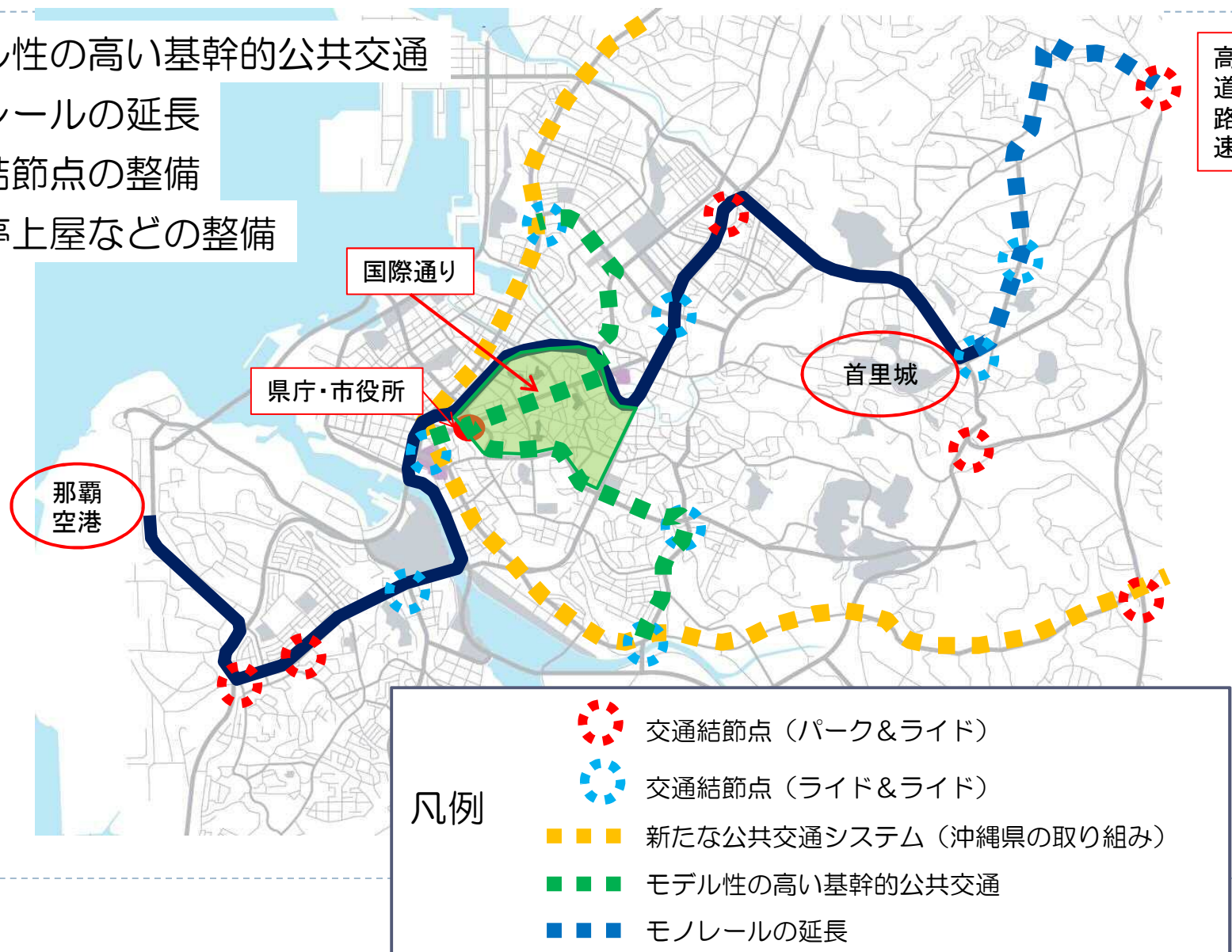
『誰もが移動しやすいまちをつくる』

# 交通基本計画の施策の方向性



# 公共交通利用環境の向上・充実を図る施策

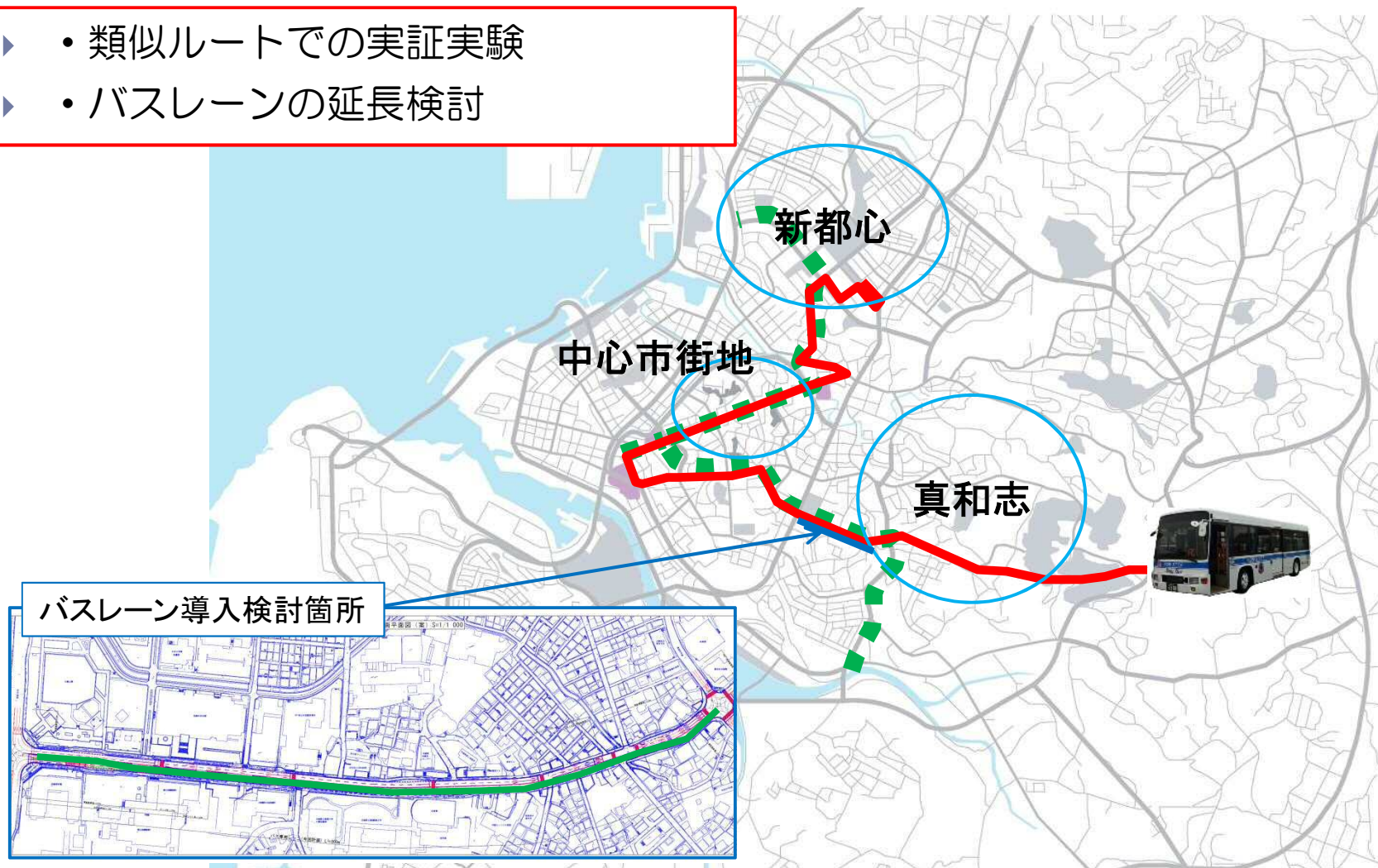
- ①モデル性の高い基幹的公共交通
- ②モノレールの延長
- ③交通結節点の整備
- ④バス停上屋などの整備



# 公共交通利用環境の向上・充実

## (①モデル性の高い基幹的公共交通 (那覇市) )

- ▶ 類似ルートでの実証実験
- ▶ バスレーンの延長検討



# 公共交通利用環境の向上・充実

## (①モデル性の高い基幹的公共交通 (那覇市) )



市の基幹バスの構想

真和志地域で乗合タクシーの実証実験中！！

ゆいレール

安里駅

真和志

寄宮の  
バス停

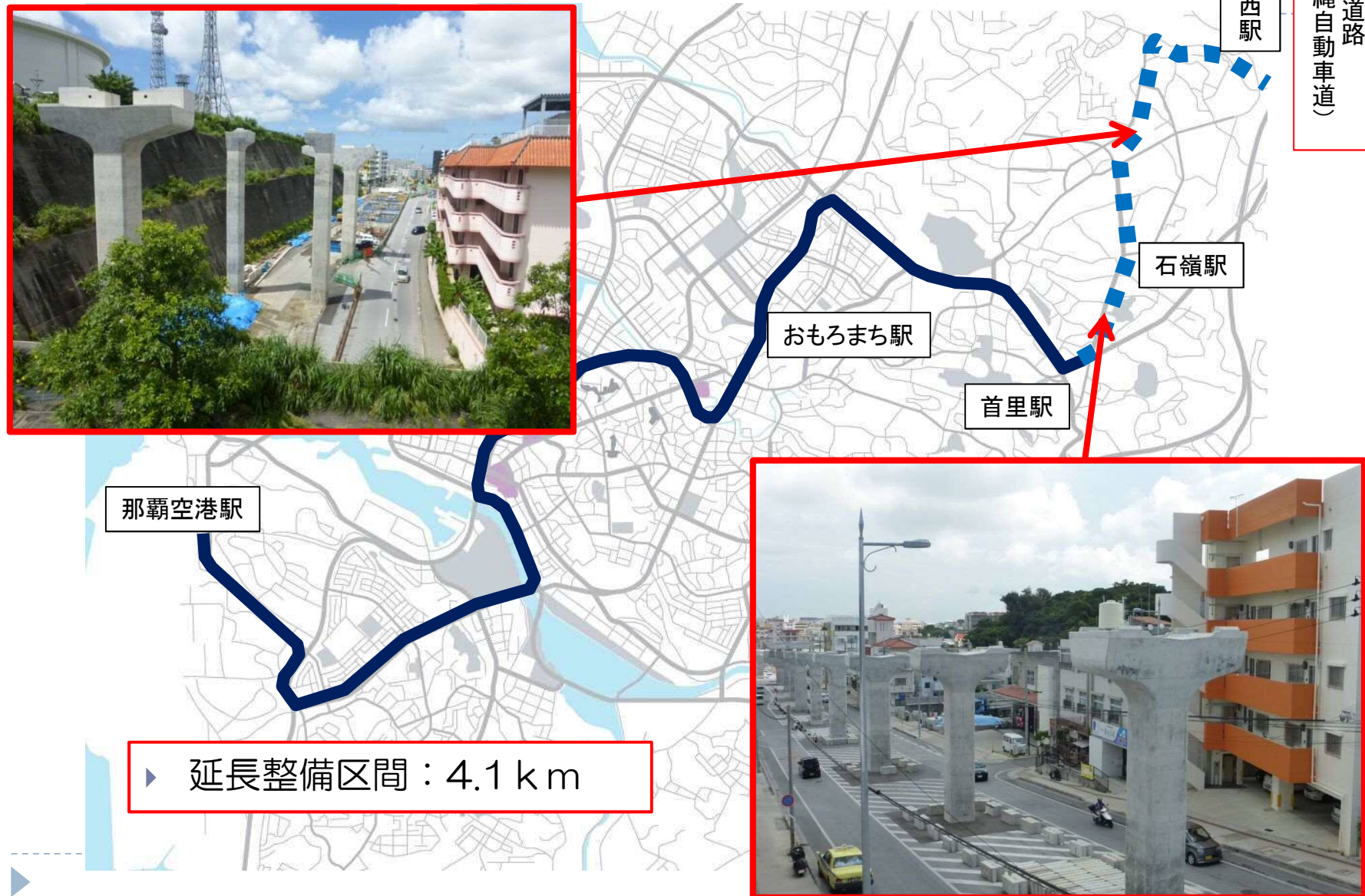
運賃

大人300円、小学生以下150円  
未就学児は無料とします。



# 公共交通利用環境の向上・充実

## (②モノレールの延長 (沖縄県・那覇市・浦添市))





# 公共交通利用環境の向上・充実

## (③交通結節点の整備 (沖縄県・那覇市・浦添市) )



おもろまち駅交通広場  
(整備済み)



石嶺駅西側交通広場(整備予定)※イメージ図



石嶺駅東側交通広場(整備予定)※イメージ図

# 公共交通利用環境の向上・充実 (④バス停上屋の整備 (那覇市))



市街地エリア



歴史エリア

市内は国道、県道を含め統一したデザインのバス停上屋

# 多様な移動手段の向上・充実 (歩行空間の確保 (国・沖縄県・那覇市) )

公共交通の利用圏域を拡大しアクセス性を高めるため、街路樹を増やし、緑陰を形成するなど、歩きやすい歩行空間を整備します。



# 多様な移動手段の向上・充実

## (自転車道の整備等 (国・沖縄県・那覇市))



自転車道の整備 (国)

環境にやさしく健康増進効果も期待される自転車の利用を促進するため、自転車道の整備や駐輪場の整備を推進しています。



駐輪場の整備

### 駐輪場 (モノレール駅)

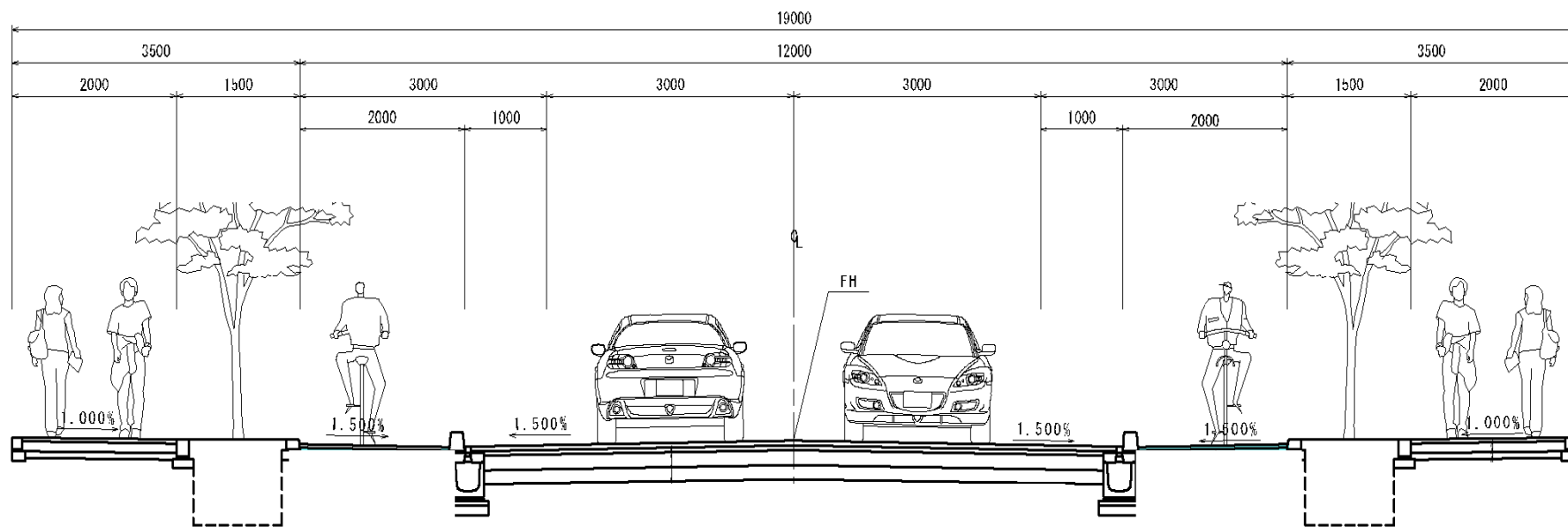
市が管理する駐輪場7箇所と台数							
古島	おもろまち	牧志	美栄橋	県庁前	旭橋	壺川	合計
74	206	32	12	65	12	45	446
県が管理する駐輪場6箇所と台数							
首里	儀保	安里	奥武山	小祿	赤嶺		合計
31	15	30	12	94	54		236
県と市の合計							682

# 多様な移動手段の向上・充実 (自転車道の整備等 (那覇市))

新規に都市計画決定する都市計画道路などにおいて、自転車が走行できる自転車道などを整備する予定です。

- ・ 真和志線 (平成23年度 都市計画決定)
- ・ 城東城北線 (平成24年度 都市計画決定)
- ・ 古波蔵上線 (平成27年度 都市計画決定)

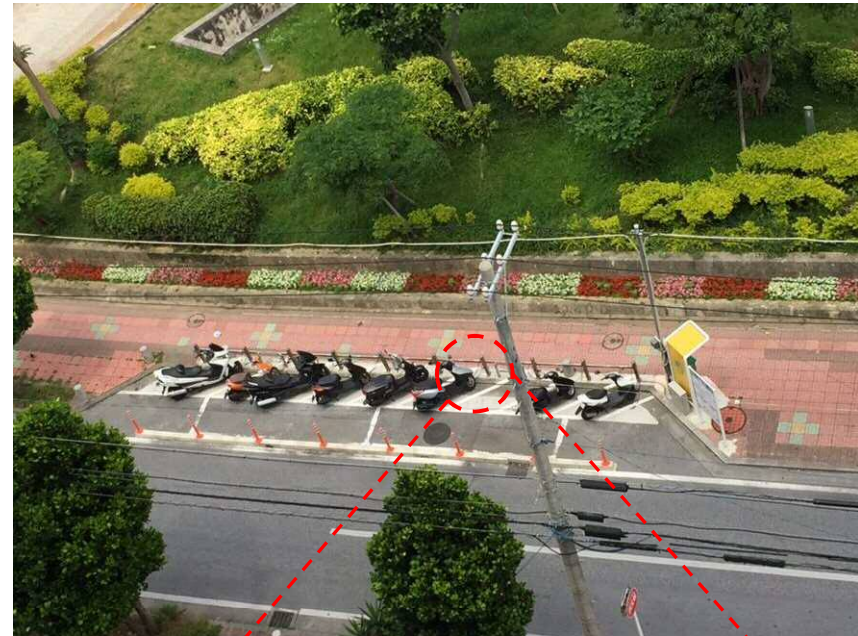
城東城北線  
道路断面図



# 多様な移動手段の向上・充実 (自動二輪車駐車場の整備 (那覇市))



整備前(パーキングメーター)



整備後(自動二輪車駐車場)

- ▶ 中心市街地の違法駐車の見られなくなった。
- ▶ 自動車から自動二輪車への転換が見られた。

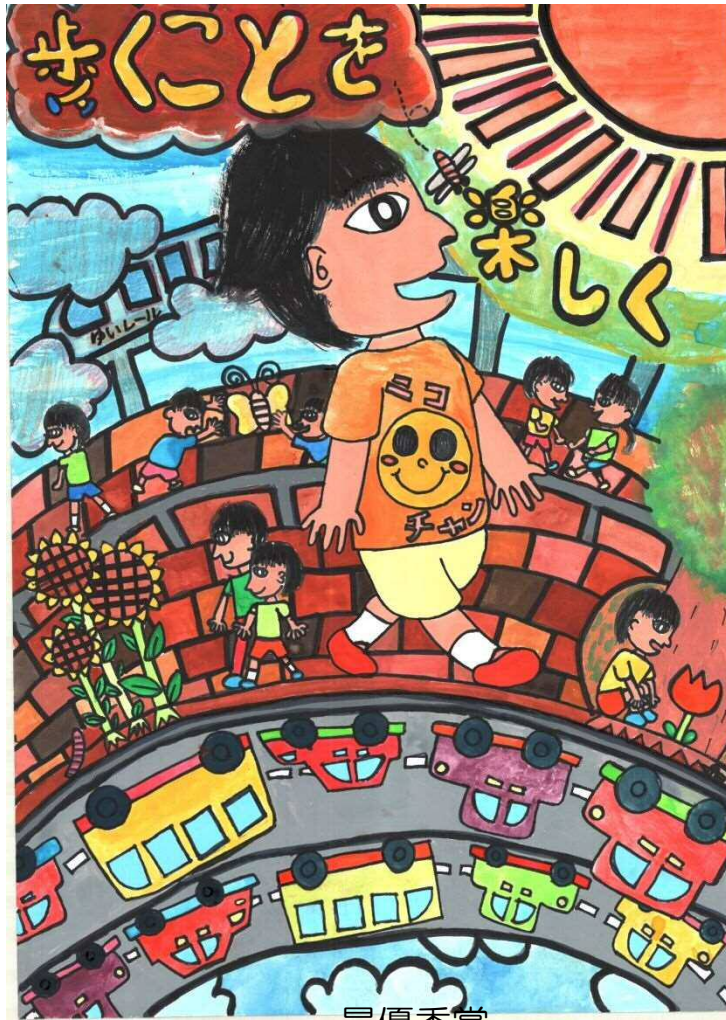


# 交通に対する意識改革（カーフリーデーの実施） （那覇市）

- ▶ 平成19年度から毎年9月16日～22日の1週間程度、日頃の車に頼りがちな生活を見直すきっかけとして、意識啓発のイベントを実施。



# 交通に対する意識改革（カーフリーデーの実施） （那覇市）



最優秀賞



沖縄バス協会会長賞

沖縄都市モノレール（株）  
社長賞



▶ 【ポスターコンクールの実施】 市内の小学生を対象に「クルマにたよりすぎないなはのまち」をテーマとしたポスターコンクールを実施しました。



# 交通に対する意識改革 (公共交通ハンドブック) (那覇市)



本市に転入された方を対象に、路線バスマップや公共交通の利用方法が記載された公共交通ハンドブックを配布





**OKICA**  
Okinawa IC Card

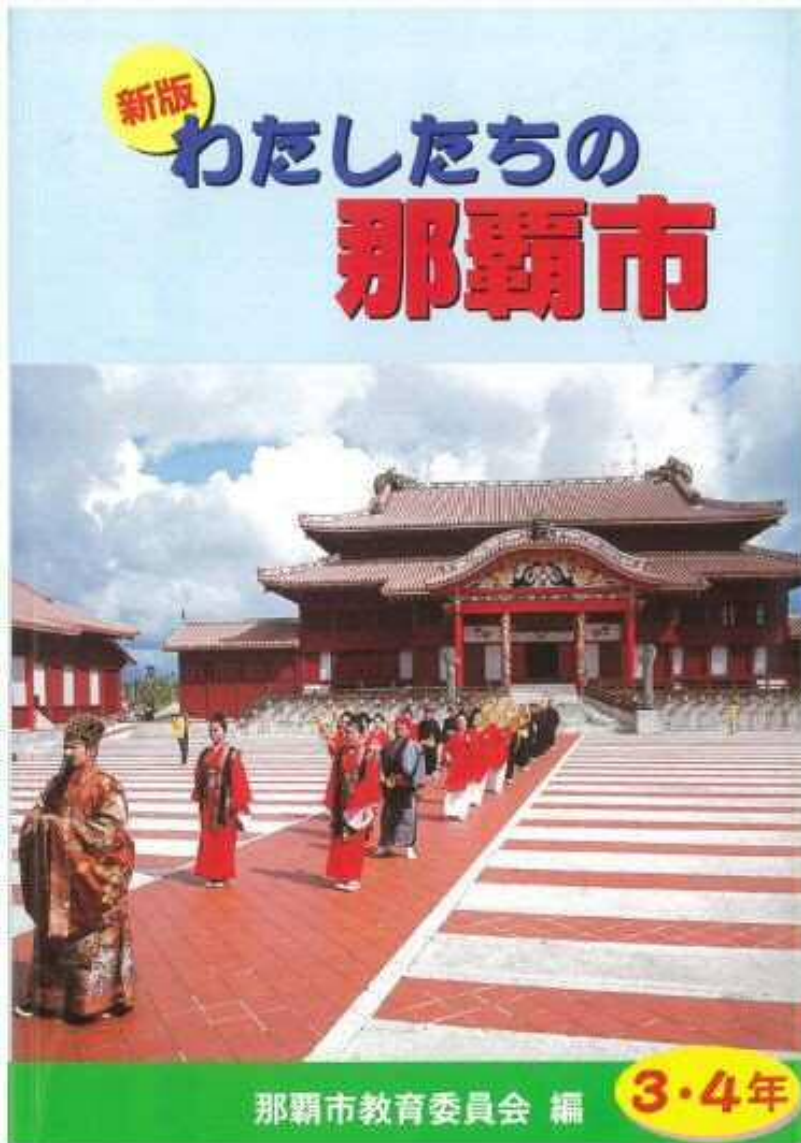
**2015年4月27日より  
バス利用開始!**

詳しくは  
沖縄ICカード株式会社 HPへ  
<http://www.okica.jp>

- **OKICA とは?**  
沖縄県内の都市モノレール(ゆいレール)・バスで乗車券として使えるICカードです。
- **OKICA のメリット**

<p><b>速い</b></p> <p>改札機等にタッチするだけで乗車できます!</p>	<p>読み取り部分にタッチするだけで自動的に運賃が精算されます。バスケース等に入れたまま使用可能です。</p>	<p><b>少く</b></p> <p>小銭が不要! バス・モノレールはこの1枚でOK!</p>	<p>あらかじめ入金(チャージ)しておくことで、万が一乗り間違ってしまったり、途中下車の場合でも、窓口での処理や両替を必要がなくなってお支払いがらくらくです。</p>
<p><b>お得</b></p> <p>月々の利用額に応じてポイントが還元されます。</p>	<p>利用額に応じてポイントが付与され、カード内のチャージ額に還元できます。</p> <p>※ポイント率は各社で異なります。</p>	<p><b>安心</b></p> <p>紛失した場合、カードの利用停止と再発行が可能!</p>	<p>「記名 OKICA、や「OKICA 定期乗車券」を万一紛失した場合、カードの利用を停止し、残高とポイントを移行したカードを再発行します。※別途手数料がかかります。</p>

# 交通に対する意識改革（小学生を対象にしたテレビ・マネジメントの実施）（那覇市）



小学校3、4年生の社会科の授業で使う副読本

那覇市教育委員会による交通への取り組み

公共交通を利用する人たちのための工夫  
 「公共交通について調べていくと、  
 いろいろな工夫が行われていることがわかりました。」



◎バス専用レーン

朝の7:30から9:00の間と、  
 夕方の17:30から19:00の間、



◎屋根のついたバス停

雨や夏場の強い日差しから  
 バスに乗るみなさんをまも  
 ります。



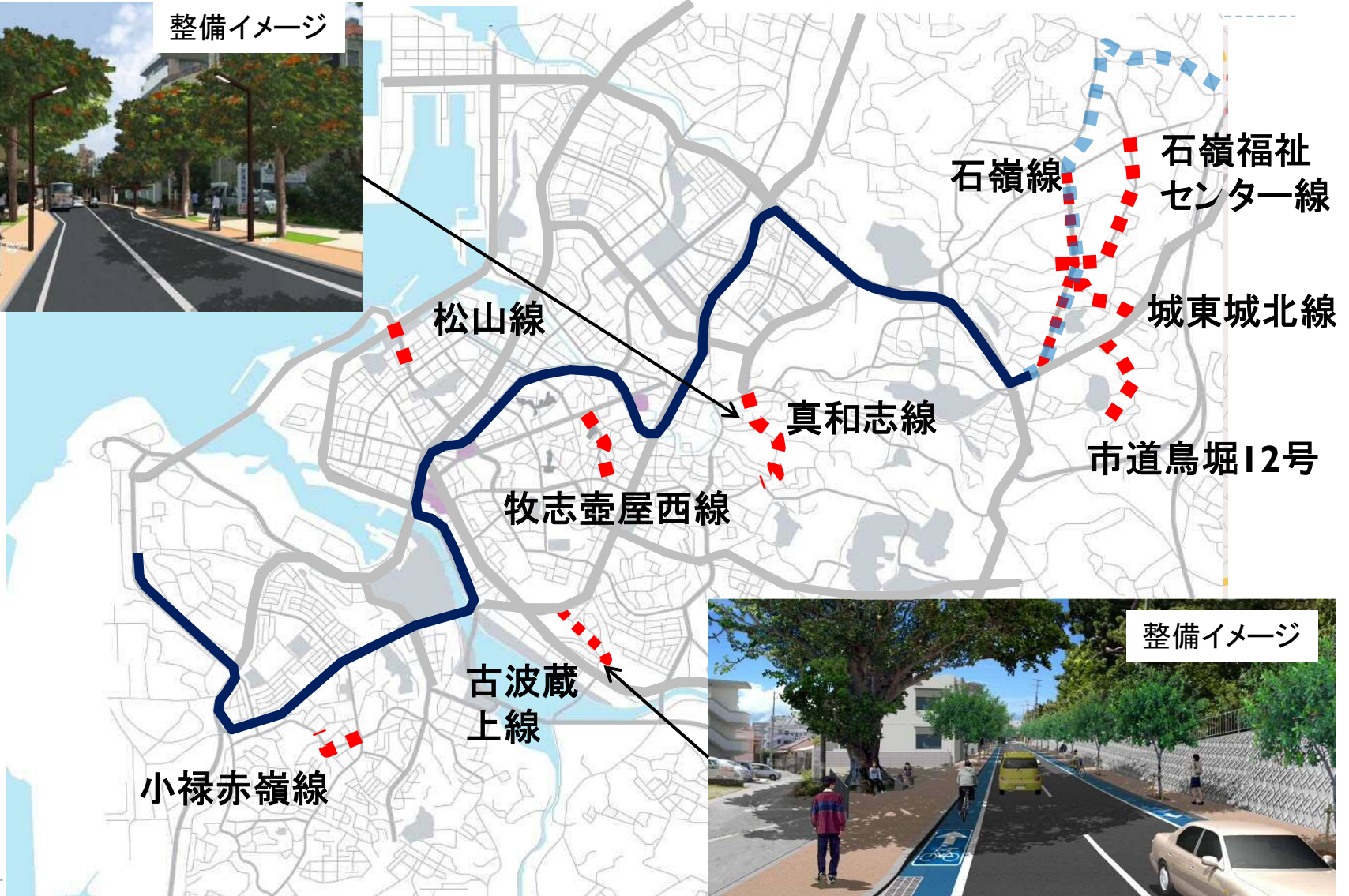
## 市役所の方のお話

他にも、渋滞をさけて出勤する時差出勤や、  
 ノーマイカーデーの取り組みなど、みなさんが  
 移動しやすい社会にするため工夫をしています。

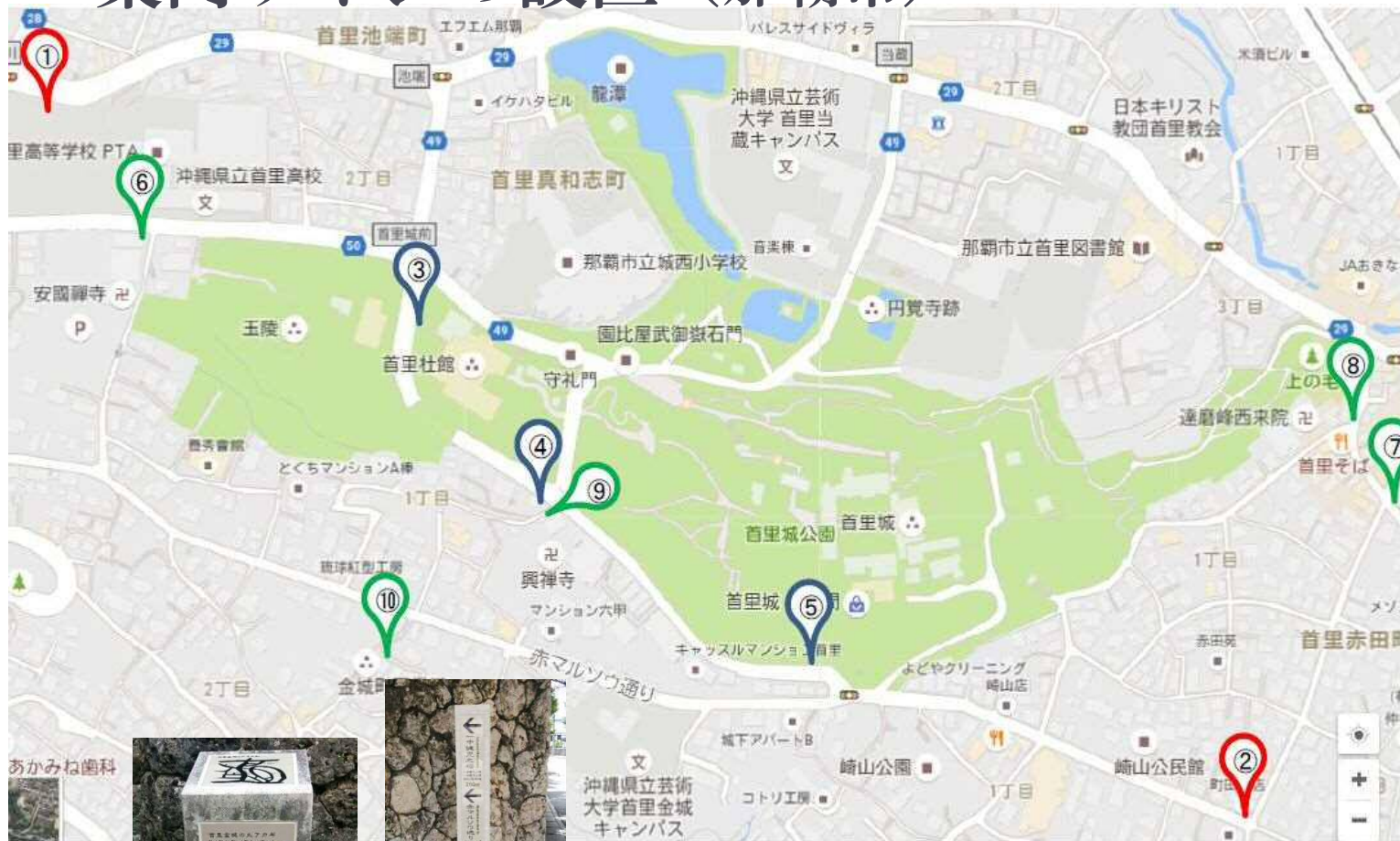
渋滞がなくなれば、公共交通の利用がもっと便利になり  
 ます。また、渋滞が減れば、排気ガスの量も減り、那覇市  
 の環境もよくなります。

小学生のみなさんも、那覇市の渋滞をなくすために、学  
 校へおうちの方に送ってもらふことをひかえるなど、でき  
 ることがないのか考えてみてください。

# 体系的な道路網整備 (那覇市整備分)



# 体系的な道路網整備 案内サインの設置 (那覇市)



①②  
周辺案内サイン



③④⑤  
周辺案内サイン(壁面)



⑥⑦⑧⑨⑩  
誘導案内サイン

# 那覇市都市交通協議会

那覇市都市交通協議会とは国、県、市、交通管理者、交通事業者、学識経験者、市民、各種団体に構成する那覇市の交通基本計画に位置付けられた各種施策を推進するために、設置された組織です。

《モニタリング体制（PDCAサイクル）》



◎モニタリング体制（PDCAサイクル）による評価・検証・見直し

## 参考資料：用語集

### ※1：新たな公共交通システム

県の広域的な計画に位置づけられている、新たに導入が検討されている公共交通。中南部都市圏から那覇市に集中する多くの利用者を「定時・速達・高頻度」で結ぶ公共交通システムとして期待されている。

### ※2：カーフリーデー

都心部において1日マイカーを使わない地区を創り出し、市民一人ひとりが車のない都市環境を体験しその変化を実感するための取り組み。

### ※3：フリンジパーキング

都心部に来街する際に、都心部周辺の駐車場に駐車し、そこから公共交通機関等で都心部までアクセスするシステム。

### ※4：トランジットモール

中心市街地のメインストリートなどで一般車両の進入を制限し、道路を歩行者やバスなどの公共交通機関に開放することで、まちの賑わいを創出しようとするもの。

### ※5：バスロケーションシステム

GPS等を用いてバスの位置情報を収集し、バス停留所の表示板や携帯電話、パソコンに情報提供するシステム。これにより、渋滞や雨などの理由によりバスが遅れているときのバス待ちのイライラを解消できる。

### ※6：パーク&ライド

駅・停留所まで自動車アクセスし、近接した駐車場に駐車し、公共交通に乗り換えて移動すること。

### ※7：BRT

Bus Rapid Transitの略で輸送力の大きなノンステップバスの投入、バス専用レーン、公共車両優先システム等を組み合わせた高次の機能を備えたバスシステムのこと。

## 参考資料：用語集

### ※8：TDM

自動車利用者の交通行動の時間、経路、手段、利用の仕方、発生源の調整等の変更を促すことにより、都市又は地域レベルでの道路交通混雑の緩和をする手法。代表的なTDMとして、混雑時間帯を避けて出勤する「時差出勤・フレックスタイム」や多くの人を一度に運ぶことができる「公共交通機関の利用」、自動車と公共交通機関を併せて利用する「パーク・アンド・ライド」などがある。

### ※9：サイクル&ライド

駅・停留所まで自転車でアクセスし、近接した駐輪場に駐輪し、公共交通に乗り換えて移動すること。

### ※10：PTPS（公共車両優先システム）

交通管理者の交通管制システムとバス事業者のバスロケーションシステムとを有機的に結合した新たな公共車両優先システム。路上の光学式車両感知器とバス車載装置間で双方向通信を行い、バス優先信号制御、バスレーン内違法走行車への警告、バス運行管理支援、所要時間表示などをリアルタイムで行うシステム。

### ※11：ロードプライシング

渋滞対策のために一定範囲に限り道路を有料化する施策。

### ※12：ライド&ライド

交通基本計画と連携計画では、異なる公共交通間を乗り継いで移動することを意味して使用している。

### ※13：サイクルポート

レンタサイクルの貸出・返却を行う駐輪施設。

### ※14：LRT

Light Rail Transitの略で、低床式車両(LRV)の活用や軌道・電停の改良による乗降の容易性、定時性、速達性、快適性などの面で優れた特徴を有する次世代の軌道系交通システムのこと。

### ※15：フレックスタイム

始業・終業の時刻を労働者自身が決定できる制度